

2 0 2 1 年 度  
事 業 報 告

育 秀 会

# 2021年度 育秀会事業報告

## 1. 育秀会の基本精神・理念

社会福祉法人育秀会は、昭和27年に乳児院を創設した阿部秀世前理事長の創業の精神を引き継ぎ、「for others」を基本精神に、「安心・安全で快適な暮らし作り」を理念に社会福祉事業を推進しました。

## 2. 育秀会の運営報告

2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて社会全体が大きく変わりました。コロナ禍で人との交流機会の減少が長期になり行動や活動が制限されて、フレイルや鬱傾向などが社会問題となっています。育秀会でも、「感染症や災害への対応力の強化」を事業計画としていましたが、年間を通し新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、各施設で、職員の感染やその家族感染による濃厚接触者認定の為に、やむを得ず入所者やショートステイの受け入れを停止しました。

前年度のコロナ感染症対応の経験を活かして、引き続きPCR検査・抗原検査の迅速対応や消毒・手洗いなど感染予防対策を行いました。変異株が猛威を振るい病院入院が出来ない時期には、育秀苑では施設内の陰圧室を利用して感染患者の療養を続け感染症を施設内に広げる事無く終息しました。今回の感染症発生で学んだことは、感染症発生時でも施設サービスを安定的に継続していく体制作りです。感染症患者が発生しても、患者が入院するまで数日間は施設内待機するので、きちんと隔離して感染を他の利用者に広げない体制が必要です。

地域における公益的な取り組みである近隣の社会福祉法人とのネットワーク事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、これまでの交流を無駄にしないように他法人とのオンライン会議を続けました。

社会福祉法人として地域の課題を見逃さず、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように事業を続けました。

## 3. 本部事業

### (1) 理事会・評議員会の開催

① 理事会 4回（書面3回）開催し、重要事項について審議しました。

第1回理事会 令和3年5月29日（書面）

理事 同意書6名、監事 確認書2名

- 第1号議案 令和2年度事業報告（案）について
- 第2号議案 令和2年度決算報告（案）について
- 第3号議案 役員選任候補者の推薦について
- 第4号議案 評議員選任候補者の推薦について
- 第5号議案 定時評議員会招集通知（案）について
- 第6号議案 役員賠償責任保険加入について

- 第2回理事会 令和3年6月23日（書面）  
理事 同意書6名、監事 確認書2名  
第1号議案 理事長及び常務理事の選定について

- 第3回理事会 令和3年11月13日  
理事 6名、監事 2名 出席  
第1号議案 給与規程の一部改正（案）について  
第2号議案 経理規程の一部改正（案）について  
第3号議案 就業規則の一部改正（案）について  
第4号議案 第3育秀苑地域包括支援センター  
運営規程の一部改正（案）について  
報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告  
（2020年11月～2021年10月）

- 第4回理事会 令和4年3月26日（書面）  
理事 同意書6名、監事 確認書2名  
第1号議案 令和3年度第1次補正予算（案）について  
第2号議案 令和4年度事業計画（案）について  
第3号議案 令和4年度当初予算（案）について  
第4号議案 規程の一部改正（案）について  
第5号議案 統括施設長及び施設長の任免について

② 評議員会 1回（書面）開催し、重要事項について審議し、すべて可決承認された。

- 定時評議員会 令和3年6月19日（書面）  
評議員 同意書7名  
第1号議案 令和2年度事業報告（案）について  
第2号議案 令和2年度決算報告（案）について  
第3号議案 役員の選任について

## (2) 監事監査

志田朝夫監事及び赤羽秀樹監事による監査を令和4年5月13日に書面にて行い、令和3年度の事業報告及び決算報告の内容を吟味し内容の正しい事を確認しました。

## (3) 借入金の償還（令和3年度分）

### ①第3育秀苑建設資金 償還額（令和15年度償還完了予定）

福祉医療機構借入	元金	9,948,000 円
	利子	1,222,977 円
	合計	11,170,977 円
償還財源		
練馬区補助金	元金	5,000,000 円
都利子補給	利子	1,164,740 円
自己資金		5,006,237 円
	合計	11,170,977 円

## 4. 今年度の重点課題

### (1) 育秀会ブランドの確立

1. 法人の基本精神・理念を全職員に徹底しました。
2. 各施設合同会議や研修等をオンライン開催し、施設間の情報共有と標準化を図りました。
3. 各施設においてそれぞれのミッションを実行しました。
4. ホームページでスタッフブログやインスタグラムを発信しました。
5. 地域の福祉拠点として、地域包括支援センターと協同してコロナ禍の不安に対して支援しました。

### (2) サービス向上に対する取り組み

1. 認知症に対する研修等を行い認知症の理解と対応力強化を図りました。
2. コロナ禍でありながらも重度化防止に取り組み、制限された中でも楽しめる環境を作りました。
3. 各施設で法人内研修やオンライン研修も含め活用し、サービス向上に取り組みました。
4. 利用者満足度調査、第三者評価、虐待の芽チェックリストを実施して、利用者本位の個別ケアが行われているかを振り返りました。
5. 施設環境改善の為に、感染症予防対策の陰圧機を導入しました。実際

に育秀苑でコロナ陽性者が入院出来ない状況になった際には、事前に医務室に隣接した部屋を陰圧室にして活用し回復するまで施設内療養をしました。また、施設内のWi-Fi整備やシルエットセンサー等ICT機器を導入し環境整備に努めました。

### (3) 経営基盤の安定

1. 新型コロナウイルス感染症発生の影響はありましたが、適時、適切な対応を行いました。
2. 事業所ごとの目標稼働率を設定し達成するように努力しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で達成できない事業所もありました。
3. 介護人材を求人して、十分な配置を行いました。
4. 合同医務会議や合同BCP(災害時における事業継続計画)会議を定期的に行い、感染症のリスクや災害時の防災対策を強化しました。
5. 情報のセキュリティー管理に取り組んだ。

### (4) 働きやすい職場づくり

1. キャリアパス制度に基づき、個人別のプログラムに沿った研修を実施し、各レベル別に目標管理し人材育成を行いました。
2. 人事評価制度と目標管理制度を活用して各職員に応じた人材育成を行いました。
3. 出産・育児・子育て中の女性職員の活躍が目覚ましく、今年度は8人が産休・育児休暇を取り5人が職場復帰しました。
4. 勤怠管理ソフトの導入により業務効率化に取り組みました。
5. 職員の資格取得の為に援助しました。

### (5) 地域貢献への取り組み

1. 新型コロナウイルス感染症の中、地域包括支援センターと協働して地域の課題に取り組みました。
2. 小中学校の生徒に対して、直接の交流はできませんでしたが、介護の普及啓発活動は継続しました。
3. 地域の社会福祉法人との協力体制を維持し、オンラインで情報交換しました。また、練馬区内の特別養護老人ホームと協力して、オンラインを活用して自施設での介護サービスの先進的な取り組みを報告しました。
4. 今年度も、介護実習生の受け入れは継続し介護人材育成を続けました。
5. 福祉避難所として、各施設で規模を縮小して、地域町会との大規模災害を想定した訓練を実施しました。

## 2021年度 育秀会レベル別研修・キャリアアップ研修報告

### 1 レベル別研修

研修名	参加人数			
	育秀苑	第2育秀苑	第3育秀苑	合計人数
レベル1 (3回/年)	3名	1名	2名	6名
レベル2 (3回/年)	2名	2名	4名	8名
レベル3① (1回/年)	3名	3名	3名	9名
レベル3② (1回/年)	0名	4名	5名	9名
レベル4 (1回/年)	3名	3名	6名	12名
レベル4公開講座(1回/年)	10名	9名	13名	32名
	21名	22名	33名	76名

※感染症の影響により、殆どの研修をオンライン開催で実施。

※レベル4公開講座「職場におけるハラスメント」もオンライン開催で実施。

### 2 新規採用入職者研修

2021年4月1日(木)～2日(金)

育秀苑	第2育秀苑	第3育秀苑	合計人数
3名	3名	6名	12名

### 3 公開講座

「介護現場におけるリスクマネジメント研修」

2022年2月21日(月) オンライン研修 参加者 29名

(育：9名、第2：11名、第3：9名)

### 4 検討・研究発表会

- ・レベル1事例検討発表会 感染症拡大の為、事例のみ集約。
- ・レベル2事例検討発表会 感染症拡大の為、事例のみ集約。
- ・法人内研究発表会 感染症拡大の為、日程調整困難の為実施せず。

### 5 昇任前研修

2022年3月16日(水)

	育秀苑	第2育秀苑	第3育秀苑	合計人数
係長	0名	1名	0名	1名
主任	1名	0名	1名	2名

※感染症の影響により、各施設で実施。

2 0 2 1 年 度  
事 業 報 告

育 秀 苑

# 2021年度 育秀苑事業報告

育秀苑は節目の年である開設35年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策に奔走した一年となりました。

今年度は施設内のWi-Fi全館整備を行い、シルエット見守りセンサー等ICT機器の有効的な活用に繋がりました。

職員面談を今年度も実施し、メンタルヘルスやキャリアアップに繋げるよう努めました。又、勤怠管理ソフトを法人で本格導入し、業務の効率化を図る等、全ての職員に対して「魅力ある職場」を目指し行動しました。

前年度同様に近隣法人や介護事業所との協働によるオンライン研修会・勉強会に参加し、情報共有や知識の習得に継続的に取り組みました。合わせて、未曾有の感染症流行を受けて、災害時も含めた協力・連携体制についても確認しました。

新型コロナウイルス感染症の変異株が猛威を振るい、育秀苑においても陽性者が発生する事態となりました。陰圧室を導入した事で、入院先が見つからない中でも、施設内で感染症対策をした上で療養して頂くことが出来ました。しかしながら、積極的に利用者を受け入れることが叶わない結果となり、次年度への課題となりました。

桜台地域包括支援センターは、地域の福祉ニーズに対応し、コロナ禍での不安に対しても相談を受付けました。「街かどケアカフェさくら」については、感染症流行の影響もありましたが、少しずつ活動することで徐々に地域の方に知られる存在となっています。

## 1. 職員配置状況

2022年3月31日現在で常勤職員40名、非常勤職員33名、計73名体制で職員を配置しました。【表1-①】

## 2. 職員採用

2022年度の採用は【表1-②】の通りです。

- 1) 正規職員については、新規採用3名、他施設からの異動7名、退職者3名、他施設への異動4名でした。
- 2) 非正規職員については、新規採用2名、退職4名でした。

## 3. 職員研修

内部研修として、施設内研修、法人で行うレベル別研修を行い、専門職としての資質向上に努めました。また、外部研修への参加については集合型研修とWEB研修を組み合わせ参加し、モチベーションの向上、技術向上を図りました。【表2】

## 4. 防災管理

総合防災訓練は、昨年同様、コロナ禍での開催となってしまいましたが、町会の方にご参加いただき、通報、消火、避難と一連の流れの訓練を行うことが出来ました。緊



急事態宣言の発令に伴い、1度だけ開催を見合わせてしまいましたが、感染症関連の訓練を数多く行うことができました。

#### 5. 施設整備

全館 Wi-Fi 環境を整備し、見守りセンサー等 ICT 機器の導入を行いました。また、東京都の補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対応の陰圧室の導入設置を行いました。

【表1-①】

## 2021年度 職員配置及び移動状況

(1) 配置状況  
 特養 定員60名 ショート 定員5名 2022年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
施 設 長	1	1		
医 師	1		2	内科、精神科
事 務 員		2		
介護支援専門員	1	3 (兼務2)		
生 活 相 談 員	1	2		
介 護 職 員	19	19 (介護福祉士18)	13 (介護福祉士5)	常勤換算23.2人
看 護 職 員	3	2	2	常勤換算4.0人
管 理 栄 養 士	1	1		
調 理 職 員				委託
機能訓練指導員	1		2	あん摩マッサージ指圧・PT
クリーンスタッフ			5	
宿 直 員			5	
計	28	28 (兼務2)	29	

## 居宅介護支援事業所

2022年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
管 理 者	1	1 (兼務1)		介護支援専門員兼務
介護支援専門員	3	5		
計	4	6 (兼務1)		

## 地域包括支援センターおよび生活支援員センター

2022年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
主任介護支援専門員	1	1		
社 会 福 祉 士	1	1		
保 健 師 (看護師)	1	1		
介護支援専門員	2	1	1	
訪問支援員	2	2		
生活支援員	2	2		
ケアカフェさくら担当	1	1	2	
事務員	1		1	
計	11	9	4	

合 計	43	43 (内兼務3)	33	
-----	----	-----------	----	--

【表1-②】

## (2) 職員異動状況

常勤職員 採用

2022年3月31日現在

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2021.4.1	採用	介護職員	1					
5.1	採用	介護職員	1					
9.1	採用	介護職員	1					

常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2021.4.1	異動	介護支援専門員	1					第3育秀苑へ
4.1	異動	生活相談員	1					第3育秀苑へ
4.1	異動	介護職員	1					第2育秀苑へ
4.1	異動	生活相談員	1					第2育秀苑より
4.1	異動	介護支援専門員			1			第3育秀苑より
4.1	異動	生活支援員				1		第3育秀苑より
10.1	異動	介護支援専門員			1			第2育秀苑より
2022.1.1	異動	介護支援専門員	1					第3育秀苑より
1.1	異動	保健師				1		第2育秀苑より
2.1	異動	介護職員	1					第3育秀苑へ
2.1	異動	介護職員	1					第3育秀苑より

常勤職員 退職

年月日	退職	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2022.2.28	退職	介護職員	1					
2022.3.31	退職	福祉課課長	1					
2022.3.31	退職	社会福祉士				1		

非常勤職員 採用

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2021.11.27	採用	介護職員	1			1		
12.1	採用	介護職員	1					

非常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	管理課	備考
2021.9.30	退職	本部					1	
2021.10.31	退職	介護支援専門員			1			
2022.3.31	退職	介護職員	1					
3.31	退職	介護職員	1					

## 2021年度 職員研修

(外部研修参加一覧表) 【表2-①】

部署	研修会名	部署	研修名
施設長	令和3年度全国老人福祉施設研究会議 鹿児島会議 (動画配信)	居宅	介護支援専門員と相談支援専門員の連携に向けての障害マネジメントの理解
	第78回全国老人福祉施設大会 山口大会(動画配信)		認知症の方の意思を尊重するために～認知症の方の意思決定支援の方法を考える～
管理課	アクティブ福祉 in 東京 '21		2021年度法改正の開設と地域で生き残る為の居宅介護支援のポイント
特養	生活相談員リスクマネジメント研修～新型コロナ終息期における介護施設の感染症対策～		処置が必要な人への理解を深める
	職場のハラスメント防止		令和3年度介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」
	業務に学ぶ! ヒューマンエラー事故の防止とは～事故は個人に頼らず組織と仕組みで防ぐ～		苦情対応におけるリスクマネジメント～利用者の信頼を得るための対応としくみ～
	ケアマネジャー受験対策講座		業務に学ぶ! ヒューマンエラー事故の防止とは～事故は個人に頼らず組織と仕組みで防ぐ～
	令和3年度社会福祉事業従事者人権研修【I】		けあまねりま
	よくわかる!! LIFE 活用術『後編』		今井塾! 介護保険制度における介護支援専門員の役割
	利用者の尊厳を尊重した看取りを行うために		令和3年度 スーパービジョン研修 専門① 練馬圏域 第2回地域カンファレンス
	介護報酬請求事務に関する研修会《応用編》		令和3年度 スーパービジョン研修 専門① 練馬圏域 第2回地域カンファレンス
	介護現場改革促進事業「令和3年度オンライン展示会」		令和3年度ネリッシュ研修「ケアプラン点検協力者になろう」
医務			認知症の人の不安や混乱を安心に変えるケア
管理栄養士	栄養ケア・マネジメント研修会～令和3年度介護報酬改定のポイント～		今井塾! 生活保護制度
	給食施設栄養技術講習会		DASCの使い方を学ぶ～初級編～
	ミールラウンドでの食事観察～評価・観察ポイントをおさえて食事形態につなげよう～		
	非常災害の対応! ～支援者として自然災害に負けず、生き延びるため～		
	今井塾! 援護者による高齢者虐待の防止と対応		

(施設内研修) 【表2-②】

	研修名		研修名
4月	身体拘束廃止①	12月	感染対策シミュレーション①
4月	虐待防止①	12月	リスクマネジメント②
5月	リスクマネジメント①	12月	感染症対策シミュレーション②
8月	BCP①	12月	身体拘束廃止②
8月	感染症予防対策①(食中毒)	12月	虐待防止②
8月	看取り介護①	1月	看取り介護②
9月	認知症介護研修	2月	褥瘡予防
10月	感染症予防対策②(インフルエンザ・ノロウイルス)	3月	看取り介護②
11月	個人情報保護・権利擁護	3月	BCP②

## 2021年度 防災訓練実施状況 【表3】

実施月	訓 練 内 容
4月	消火栓・自動火災報知設備操作説明 消火栓・自動開催報知設備の操作マニュアルを参照しながら説明。 参加者 7名
5月	福祉避難所マットレス、簡易間仕切り設営マニュアルについて（書面回覧）： 福祉避難所開設時の就寝場所を確保するため、設営マニュアルを書面回覧。
6月	<b>BCP 訓練（書面回覧）</b> 各部署において、地震等の発生時の初動 30 分にできることを考えてもらい、書面にて提出。
7月	<b>3 施設合同無線機使用訓練</b> 各施設合同で、無線機を使用した情報共有訓練を行った。 参加者 8名
8月	<b>BCP 訓練（感染症対応）</b> 感染症が発生した際の行動指針及びマニュアルの確認。 参加者 8名
9月	消火器の使用方法及び注意事項の説明（書面回覧） 消火器の使用及び注意事項マニュアルの回覧。
10月	総合防災訓練（予行練習） 総合防災訓練のシミュレーションを実施。 参加者 10名
11月	総合防災訓練（桜台二・三丁目町会と合同） 桜台二・三丁目町会と合同で防災訓練を実施。B1階での出火を想定。 参加者 11名、町会 1名
12月	感染症 BCP ゾーニング訓練 感染症発生時に使用する、陰圧装置の設置方法と使用方法の確認と周知。 参加者 11名
1月	夜間想定防災訓練 夜間に火災が発生したと想定し、通報、消火訓練を行った。 参加者 8名
2月	緊急事態宣言発令のため、開催なし
3月	次年度防災計画について（書面回覧） 今年度の訓練のまとめと、2022年度の防災計画を書面回覧。

# 2021年度

## 育秀苑介護老人福祉施設

### 短期入所生活介護事業 事業報告

#### 2021年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神「for others」、理念「安心・安全で快適な暮らし作り」を毎朝唱和し、法人の一員であることを意識すると共に、利用者が安心して過ごして頂けるよう、一人一人に寄り添った支援を実践しました。
- ② ZOOM などオンラインを活用し会議や研修を行い、迅速な情報共有に繋げ安定したサービス提供を行いました。
- ③ 令和3年度ミッション「あなたも私も大切に！協力し合い笑顔のサービス」を基本精神、理念と共に唱和し、各自具体的な目標を立て、委員会等で随時振り返りを行うことで意識を高めました。
- ④ ホームページ、ブログを利用し活動の様子や行事の食事など写真を交えて掲載し情報発信を行いました。
- ⑤ 地域包括支援センターと連携し住み慣れた地域での生活が安心して継続出来る様、協力体制を整えました。

##### 2 サービス向上に対する取り組み

- ① 施設内研修を実施し、職員一人一人へ周知しサービスの質の向上に繋がりました。
- ② 理学療法士や歯科医師など多職種で連携し、利用者の状態に合わせた生活リハビリを含む機能訓練、口腔機能向上に向けた取り組みを行いました。
- ③ 施設内研修を計画に沿って開催しました。感染症の影響により、集合する研修が出来ない事もあり、前年度同様に書面やオンライン研修を活用しました。外部研修も集合とオンライン研修を必要に応じて選択する事が多くなり、同様の研修を複数の職員が受けることで、情報共有をスムーズに行いサービス向上に活かしました。
- ④ 年2回全職員を対象とした「虐待の芽チェックリスト」を実施し、日頃のケアを振り返りました。サービス向上・虐待防止委員会においても検証し、サービスマナー、接遇を意識したケアに役立てました。
- ⑤ 導入した ICT 機器を始め、車椅子、介護ベッド等の福祉用具の点検を定期的に実施し、計画的な修理・更新に繋がりました。

### 3 経営基盤の安定

- ① 感染対策や防災訓練など施設内での研修、訓練を計画的に実施しました。
- ② 特養の年間稼働率は92.9%で昨年度より5%減少、退所者が31名と多く、入所してすぐに退所となる事や同時期に複数の退所者が続くこともあり、退所から入所までの空床期間の短縮が図れませんでした。また新型コロナウイルス感染症の発生により入所が出来なかった事も稼働率低下の要因となりました。  
ショートステイの年間稼働率は62.3%、上半期は73.8%と昨年からの稼働率を維持することが出来ました。下半期はショートステイ利用から入所される事や、新型コロナウイルス感染症の発生により受け入れを中止したため、稼働率低下の要因となり、総ベッド稼働率は90.6%となりました。  
特養は新規入所者28名、ショートステイは新規利用者22名が利用開始となりましたが、結果として利用終了者が上回る形となり翌年度への課題となりました。
- ③ ICT機器を活用し業務の効率化や生産性の向上に取り組み、職場環境を整える事で退職者を少なくすることが出来ました。
- ④ 来苑者の検温及び直近の体調チェック、オンラインによる面会、職員の1日2回の検温、PCR検査を毎週実施、フェイスシールドやゴーグルの使用、オゾン発生器の継続利用、アルコールやカンファ水による消毒等を行い、感染症予防の徹底を図りました。
- ⑤ 情報セキュリティに関する基本方針や規則を定め、個人情報保護の研修を行い適切な取り扱いが責務である事を職員に周知しました。

### 4 働きやすい職場作り

- ① ストレスチェックを実施し、風通しの良い職場風土や環境作りを行い、職員の経験や能力、意向を踏まえた適正配置や負担軽減を行いました。
- ② 指導や目標設定、振り返りが行えるよう定期的な面談に加え、希望時や必要時には職員及びリーダーとの話し合いの機会を設けました。
- ③ 各職員の生活スタイルに合わせた休暇取得を推進し、仕事を続け易い職場環境を整えました。
- ④ ICT次世代機器導入推進委員会を中心にシルエットセンサーやケアバードなどの機器を導入し業務の効率化や職員の負担軽減を図りました。
- ⑤ 資格取得費用の支援や研修時の職務免除等を行いキャリアアップの為の支援を行いました。

### 5 地域貢献への取り組み

- ① 感染症の影響により、積極的な地域との交流の場を設けることが出来ませんでした。地域交流スペースの開放や意見交換会等も実施出来ませんでした。
- ② 小学校、中学校との交流や介護等体験も実施することが出来ませんでした。今後学習や体験を通じて、福祉の魅力を伝える機会を設けたいと考えています。
- ③ 「ねりま社会福祉法人等のネット」について、打ち合わせ等はオンライン会議を通じて参加し、活動再開に向けて意見交換を行いました。

- ④ 介護福祉士、社会福祉士養成校の実習生について、双方の感染対策を行った上で受け入れを行いました。
- ⑤ 地域との連携を継続する為、少人数の参加でしたが町会の方と合同で防災訓練を実施しました。



【表 1】

## 特養稼働表

2022年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,800	1,787	99.3%
5月	1,860	1,735	93.3%
6月	1,800	1,697	94.3%
7月	1,860	1,720	92.5%
8月	1,860	1,684	90.5%
9月	1,800	1,633	90.7%
10月	1,860	1,759	94.6%
11月	1,800	1,701	94.5%
12月	1,860	1,748	94.0%
1月	1,860	1,651	88.8%
2月	1,740	1,527	90.9%
3月	1,860	1,712	92.0%
合計	21,960	20,354	平均 92.9%

(前年度平均 96.3%)

【表 2】

## 在籍状況及び理由別入退所状況

2022年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所							
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計
4月	58	0	0	4	0	4	2	0	0	0	0	0	0	2
5月	58	0	0	3	0	3	1	1	0	0	0	0	0	2
6月	59	0	0	3	0	3	2	1	0	0	0	0	0	3
7月	59	1	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	4
8月	56	0	0	3	2	5	4	0	0	0	0	0	0	4
9月	57	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	3
10月	55	1	0	3	0	4	0	1	0	0	0	0	0	1
11月	58	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	60	0	0	1	1	2	3	1	0	0	2	0	0	6
1月	56	0	0	2	1	3	3	0	0	0	0	0	0	3
2月	56	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
3月	54	1	0	2	1	4	1	0	0	0	0	0	0	1
計	686	3	0	23	6	32	24	5	0	0	2	0	0	31

○2020年度の死亡による退所は21名（前年度25名）、内15名は施設内で看取りました。

【表3】

## 年齢・性別一覧

2022年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	0	3	3
75歳以上80歳未満	2	4	6
80歳以上85歳未満	3	8	11
85歳以上90歳未満	1	19	20
90歳以上95歳未満	2	8	10
95歳以上100歳未満	0	10	10
100歳以上	0	1	1
計	8	53	61
平均年齢	83.4 (85.7)	88.7 (88.8)	88.0 (88.4)

( ) 内は前年度

○前年度と比べると女性はほぼ変わらないが、男性は平均年齢が下がっている。

○最高齢 102歳、最年少 71歳

【表4】

## 要介護度構成

2022年3月31日現在

2021年3月31日現在		2022年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	1	要介護度 2	1
要介護度 3	7	要介護度 3	7
要介護度 4	31	要介護度 4	26
要介護度 5	21	要介護度 5	24
計	60	計	58
平均	4.20	平均	4.30

○要介護2は1名。要介護3が7名と要介護4は同数、要介護5が1名増えている。

【表5】

## 在所期間

2022年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	4	17	21
1年以上2年未満	1	11	12
2年以上3年未満	0	4	4
3年以上4年未満	0	3	3
4年以上5年未満	1	5	6
5年以上6年未満	0	6	6
6年以上7年未満	0	2	2
7年以上8年未満	1	1	2
8年以上9年未満	0	1	1
9年以上10年未満	0	0	0
10年以上	0	0	0
計	7	50	57

○在所期間2年未満が30名で50.0%となった。

【表6】

＜身辺自立状況＞  
日常生活動作等の状況

2022年3月31日現在

入所者の 日常動作等 の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	20人 (21人)	34人 (32人)	一部：歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部：自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	12人 (7人)	14人 (13人)	一部：スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部：全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	23人 (21人)	31人 (37人)	一部：介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部：常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	24人 (25人)	31人 (33人)	一部：手を貸せば、着脱できる。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	8人 (7人)	49人 (53人)	一部：身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	51人 (55人)		自走：10人(17人)、一部介助：13人(9人)、全介助：32人(27人)
	認知症	54人 (55人)		認知症老人とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害 中度以上でその状況が、継続すると認められる者をいう。

※ ( ) 内は前年度の数字

【表7】

＜事故 ・ ヒヤリハット報告＞

計 339件 (359件)	203件 (165件)	・ヒヤリハット報告（見逃せば事故につながった可能性が強いもの）
	199件 (194件)	・事故報告（行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの）

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	0 (1)
転倒・転落・滑落	23 (17)
外傷	154 (129)
異食	1 (1)
誤嚥	2 (1)
誤薬	0 (3)
その他	19 (24)
計	199 (175)

外傷141件中、3cm×3cm以下の皮下出血 94件

※ ( ) 内は前年度の数字

【表 8】

<入所者ならびに職員の健康診断状況>

## (ア) 入所者

2022年3月31日現在

		人 数	検 査 内 容
入所者及び新規入所者の健康診断	実人数	93名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査(体調不良時など)	延人数	112名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

## (イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
9 月	48名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 希望者はPWV(動脈硬化)検査
10 月	28名	介護者	腰痛健診(問診含む)
2 月	26名	介護者	腰痛健診(問診含む)
3 月	21名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重

## (ウ) インフルエンザの予防接種

入所者	55名
職 員	42名

## (エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

1回目	利用者	54名
	職 員	6名

2回目	利用者	53名
	職 員	7名

3回目	利用者	50名
	職 員	42名

【表9】

## &lt;療養食&gt;

2022年3月31日現在

食種	糖尿病食
人数	1

【表10】

## &lt;行事食&gt;

・行事食実施回数 年28回

2022年3月31日現在

月	日	行事名	内容
4	27	春の旬野菜御膳	筍ご飯・吸物・新玉ねぎとうどのかき揚げ・そら豆の茶碗蒸し・ゴールデンキウイ・いちご
5	5	端午の節句	五目ちまき風炊き込みご飯・吸物・ぶりの照り焼き・筍とそら豆のくず煮・びわのミニパフェ
	9	母の日	海老天重・吸物・トマトとアボカドの彩りサラダ・クラッシュゼリーのミニパフェ
6	15	郷土料理「静岡」	さくらめし・いけんだ煮みそ・桜えびとしらすのかき揚げ・菜の花のわさび和え・富士山ゼリー
	20	父の日	カツ重・なめこ汁・なすの香味和え・フルーツポンチ
7	7	七夕	七夕そうめん・枝豆とコーンのかき揚げ・トマトと塩昆布のサラダ・天の川ゼリー
	15	お盆	茗荷ご飯・かきたま汁・夏野菜の天ぷら・焼き鱈のなめろう風・夏みかん缶
	28	土用の丑の日	うなぎちらし寿司・吸物・菜の花のおひたし・マンゴー缶
8	5・6	オリンピックフェア	ビビンバ丼・酸辣湯・ラトトゥイユ・杏仁プリン/バエリア風ライス・ミネストローネ・タンドリーチキン
	15	夏祭り①	焼きそば・わかめスープ・じゃがバター・から揚げ・すいか
	22	夏祭り②	やきとり丼・スープ・お好み焼き・バナナチョコムース
9	12	敬老会	松茸ご飯・吸物・鮭の西京焼き・天ぷら・炊き合わせ・果物 おやつ：紅葉羊かん
	29	秋の味覚御膳	栗ご飯・鮭のちゃんちゃん汁・秋野菜のかき揚げ・きのここと銀杏の茶碗蒸し・梨
10	17	秋のレクリエーション大会	さんまの炊き込みご飯・きのこ汁・鶏肉と秋野菜の煮物・春菊とくるみの白和え・柿
	29	郷土料理「福島」	春菊の混ぜご飯・こづゆ・さんまのぼうぼう焼き・いかにんじん・桃ゼリー
11	24	和食の日	きのこご飯・長芋の味噌汁・カレイの柚庵焼き・かのに茶碗蒸し・水羊羹
12	19	クリスマス	エビピラフ・トマトクリームスープ・ミートローフ・クリスマスサラダ おやつ：ケーキ
	25		ジャムパン・コーンスープ・ローストチキン・海老とブロッコリーのサラダ
	31	大晦日	年越しそば（エビ天）・里芋の湯葉あんかけ・みかん
1	1	正月祝膳	カニちらし寿司・吸物・カレイの照り焼き・お節盛り合わせ・果物 おやつ：松竹梅羊かん
	2	正月	赤飯・味噌汁・天ぷら・ほうれん草の菊花和え・パイナップル
	3		五目炊き込みご飯・のっぺい汁・松風焼き・かぶの煮物・みかん
	7	七草	七草粥・煮物・カリフラワーの和え物・練り梅
15	小正月	小豆粥・冬瓜のそぼろ煮・菜の花の酢味噌和え・のり佃煮	
2	3	節分	大豆のかき揚げ丼・つみれ汁・春菊と桜えびのおひたし・いちごミルクゼリー
	25	冬の旬御膳	セリの炊き込みご飯・吸物・鱈の揚げ出し・小松菜とあさりの酢味噌和え・いちご
3	3	ひな祭り	ちらし寿司・あさりの潮汁・筍のあんかけ茶碗蒸し・菜の花のおひたし・桜ようかん おやつ：甘酒・いちごあんみつ
	25	お花見御膳	赤飯・吸物・菜の花と桜えびのかき揚げ・春キャベツと蒸し鶏の和え物・いちご

## その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（週1回）

【表11】

## &lt;家族との連携状況&gt;

## (1) 月別の面会状況

2022年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	24	15	27	8	9	39	33	67	70	25	2	7

計 286人 月平均 23人

○ 基本的にはオンライン面会とし、お看取りの方は、個別対応実施。

## (2) 外泊の状況について

○ 外泊者は0名でした。

## (3) 家族との連絡

○ 定期的連絡 年12回（毎月の行事及び各利用者の先月の様子を含めたお知らせを送付）

○ 介護保険に関する連絡 随時

○ 利用者の健康状態などについての連絡 随時

○ ケアプランの承認及び、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 随時

○ 予定していた家族懇談会は、感染症予防対策のため未実施

【表12】

## &lt;実習生の受け入れ状況&gt;

2022年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
東京福祉保育専門学校	介護福祉士実習	2人	30日	
日本福祉教育専門学校	社会福祉士実習	2人	23日	
		人	日	
	計	2人	53日	

## &lt;地域との連携（社会資源）及び、ボランティア活動&gt;

2022年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
桜台2・3丁目町会	災害協定・防災合同訓練・祭礼等	1人	無
東京福祉会	葬祭等相談・供養会・イベント紹介	0人	無
練馬理髪組合	出張理容	9人	有
神の教会保育園	訪問交流	0人	無
力行幼稚園	訪問交流	0人	無
にじいろ保育園	訪問交流	0人	無
個人ボランティア	洗濯物整理・編み物	0人	無
グループボランティア	花あそび・演奏会	0人	無
シルバー人材	清掃	1人	無

【表13】

## &lt;クラブ（サークル）参加状況&gt;

2022年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
レク活動	月間 38人	職員	無	週 3回
園児交流会	感染症予防対策のため未実施			
金管楽器音楽会				
花あそび				

【表14】

## 2021年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内容
4	1	水	花見	感染予防対策のため未実施。
5	5	水	端午の節句	花菖蒲と五月人形を飾って端午の節句を祝いました。
	9	日	母の日	赤いカーネーションの花束を用意し記念撮影をし、行事食で母の日を祝いました。
6	20	日	父の日	ひまわりの花束を用意し記念撮影をし、行事食でお祝いをしました。
7			供養会	未実施
8	15、22	日	夕涼み会	プロジェクターを使用し花火の映像鑑賞をしながらアイスクリームやジュースを食べました。
9	12	日	敬老祝賀会	長寿の祝い品をお渡しし、長寿を祝いました。
10	17、24	日	レクリエーション大会	プロジェクターを使用し、1964年のオリンピック動画の鑑賞、行事食を楽しみました。
11	8～15	月～月	開設記念の作品展	作品の展示、写真を展示しました。
12	19	日	クリスマス会	職員による演奏会の実施、サンタクロースに扮した職員と記念撮影をし、行事食を楽しみました。
1	1	金	新年祝賀会・初詣	元旦祝膳で新年を祝いました。
2	3	木	節分豆まき	感染予防対策のため未実施。
3	3	木	雛祭り	1Fフロアに雛人形、桃の花を飾り節句を祝いました。

通 年	金管楽器音楽会	感染症予防対策のため未実施
	園児訪問	
	趣味活動 (花あそび)	
	被服販売会	

【表15】

## ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規利用者数
	枠	利用日数	利用率	利用可能日数	利用数	利用率	
4月	150	107	71.3%	13	0	0%	1
5月	155	111	71.6%	125	0	0%	2
6月	150	119	79.3%	103	0	0%	1
7月	155	109	70.3%	140	0	0%	2
8月	155	107	69.0%	176	13	7.4%	3
9月	150	107	71.3%	169	2	1.2%	0
10月	155	100	64.5%	101	0	0%	3
11月	150	100	66.7%	99	0	0%	2
12月	155	94	60.6%	112	0	0%	4
1月	155	60	38.7%	209	0	0%	0
2月	140	14	10.0%	153	0	0%	0
3月	155	94	60.6%	148	0	0%	4
合計	1,830	1122	平均 61.5%	1,548	15	平均 1.0%	22名
	(前年度平均 63%)			(前年度平均 4.8%)			

【表16】

## ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	0	22	38	7	42	109
5月	0	0	0	23	56	4	27	110
6月	0	0	0	31	27	7	54	119
7月	0	0	0	33	20	30	26	109
8月	0	0	0	42	19	46	13	120
9月	0	0	0	38	22	32	17	109
10月	0	0	3	30	11	17	39	100
11月	0	0	3	19	26	20	32	100
12月	0	0	38	12	8	19	16	93
1月	0	0	10	4	27	18	0	59
2月	0	0	0	0	4	10	0	14
3月	0	0	8	23	32	30	0	93
合計	0	2	54	254	290	240	266	1,135
%	0%	0%	4.75%	22.4%	25.6%	21.1%	23.4%	100%



# 2021年度

## 育秀苑居宅介護支援事業 事業報告

### 2021年度の重点課題

#### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 社会福祉法人 育秀会の基本精神・理念である「for others」「安心・安全で快適な暮らし作り」を基に、利用者の心に寄り添う支援を目指し地域社会作りに取り組んで参りました。また各関係機関と連携し福祉と医療のネットワークを構築し地域共生社会の中核として地域から信頼される事業所作りに取り組みました。
- ② 新型コロナウイルス感染が拡大している中、リモートを活用しながら合同居宅会議を開催し法人内での情報の共有・事業所間の標準化を図りました。

#### 2 サービス向上に対する取り組み

- ① 利用者の意向及び人格を尊重しその立場に立った支援を心掛け、取り組んで参りました。また利用者及び家族の選択に基づき、保健・医療・福祉・民間サービス等、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう公正中立な支援を提供しました。
- ② 新型コロナウイルス感染が拡大している中、リモートを活用しながら法人内研修や「練馬介護人材育成・研修センター」等の外部団体が主催する研修会等へ計画的に参加し、資質の向上に努めました。
- ③ 職員間の情報交換・課題の共有・相談援助をスムーズに行う事が出来るよう毎朝のミーティングや1回/週 定例会議を開催し、ケアプラン作成能力の向上に努め専門性の高い人材育成に努めました。
- ④ 「個人情報持ち出し管理簿」を運用し個人情報の適切な管理を行って参りました。また毎月の提供票、居宅サービス計画書などの書類の郵送およびファクシミリ利用の際は、細心の注意を払い誤送付事故の防止に取り組みました。

#### 3 経営基盤の安定

- ① 地域共生社会の実現に向け地域ネットワークを構築し、利用者・家族のニーズに沿ったケアマネジメントの提供に努めました。
- ② 特定事業所加算（Ⅱ）の算定要件を満たす為、職員体制の維持・24時間連絡体制の確保・東京都介護支援専門員実務研修実習の受入れ・地域包括支援センター主催の事例検討会への参加、他法人と共同事例検討会の開催等を実施しました。
- ③ 介護支援専門員1人当たりの担当件数35件を目標とし地域包括支援センター等と連携しながら新規利用者を積極的に受け入れ出来る体制を維持しました。達成率としては90.2%と達成には至りませんでしたが入院時情報連携加算・退院退所加算等を確実に算定し医療連携強化・収益確保に努めました。
- ④ 介護予防・日常生活支援総合事業の練馬区からの受託事業者としての登録を継続し、要支援者等に対し介護予防ケアマネジメントを提供しました。
- ⑤ 令和3年度介護保険法改正について理解を深め「介護報酬」や「運営基準の変更」「加

算要件の変更」など、常に最新の情報を収集し法令遵守に努めました。また「運営基準減算チェック表」を用いて毎月の業務を確実に遂行し、11月に行われた練馬区実地指導においても運営基準減算に該当しない事業所運営を実施する事が出来ました。

- ⑥ 災害時の要援護者リストを作成し担当利用者の緊急時の連絡先を適宜確認しながら、災害発生時の危機管理意識の向上に努めました。
- ⑦ 新型コロナウイルス等の感染症の発生及び蔓延防止の為、出勤前及び勤務中に検温し記録・保管すると共に、手洗い・マスクの徹底・事務所内の換気や消毒を行い、感染者を一人も出さずに事業所運営を継続する事が出来ました。

#### 4 働きやすい職場作り

- ① ミーティングや定例会議等を通して職員間で情報を共有し、担当者不在時でも事業所として対応が出来るフォロー体制を維持しました。また「ワーク・ライフ・バランス」確保の為、職員が休暇を取りやすい快適な職場環境作りに努めました。
- ② 安定した職員体制を整え法人研修、外部研修に参加しやすい環境作りに努め、質の向上、自己研鑽に努める機会を確保し長期的な視野で人材育成を行いました。
- ③ 管理者は、職員の労務環境整備、定期的な面談、職員とのコミュニケーションを図り、職員の心身の健康等を日常的に観察しサインを見落とさないように努めました。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ① 新型コロナウイルスが感染している中、可能な限り地域包括ケアセンター会議、地域ケア圏域会議、地域密着運営推進会議等に参加し地域の民生児童委員、老人会、町会、自治会、介護事業者等との連携・顔の見える関係づくりに努めました。
- ② 大規模災害時に対応が出来る事業所として法人一体となりその基礎作りに努めました。また実際の災害発生時に落ち着いて行動が出来るよう定期的に行われる防災会議へ参加し意識強化を図りました。

要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	12	12	12	14	13	14	14	13	13	13	14	15	159 (174)
要介護1	55	55	56	56	52	55	55	53	58	59	59	57	670
要介護2	69	70	68	69	71	73	65	62	59	62	61	61	790
要介護3	35	36	38	39	37	40	38	35	35	34	39	31	437
要介護4	19	18	19	17	19	19	20	20	20	19	18	24	232
要介護5	9	9	8	8	8	9	9	10	10	11	12	11	114
介護合計	187	188	189	189	187	196	187	180	182	185	189	184	2,243 (1,834)

※ ( ) 内は前年度の数字

2021年度

事業報告

第2育秀苑

# 2021年度

## 第2育秀苑事業報告

6月に職員の新型コロナウイルスへの感染が判明し、利用者4名の方への感染が判明いたしました。皆様入院されましたが、2回目ワクチン接種直後ということもあり、全員無症状で退院されております。また、8月にはショートステイの方の感染が判明、今年の2月には職員や職員家族の感染判明、在宅利用者の感染が続く中で、やむなくショートステイ受入れの休止をせざるを得ない状況や、訪問介護サービスの利用控えなど、稼働や収益にも大きく影響を受けた1年でした。そんな中、施設内で大きな感染拡大に至らなかったことは、職員一同感染予防対策への意識と日々の訓練が功を奏したと思っております。まだまだ終わりが見えない中で、今までの経験をふまえ継続して感染予防対策に取り組んで参ります。

新型コロナウイルスにより、外部との接触が制限される中、「笑顔と心で繋ぐ」をミッションに日々の様子をホームページで積極的に発信することで、地域やご家族との繋がりを意識し取り組みました。より一歩進んだ行動を目標とし、2022年度も継続したミッションに取り組んで参ります。

### 1. 職員配置状況

2022年3月31日現在で常勤職員40名、非常勤職員49名、計89名体制で職員を配置しました。【表1-①】

### 2. 職員採用

2022年度の採用は【表1-②】の通りです。

1) 正規職員については、新規採用4名、他施設からの異動2名、退職者2名、他施設への異動3名でした。

2) 非正規職員については、新規採用7名、退職5名でした。

### 3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症の流行により、オンラインや動画を活用した研修を開催するなどして、職員一人一人の知識向上に努めました。また、外部研修においてもオンラインでの開催が主流となり、タブレット等を活用し研修に参加しました。区内の他法人との連携研修にも参加し、施設間の連携を図るとともに、職員の意識向上につながりました。【表-2①②】

### 4. 防災管理

集合での訓練実施に制約があるなか、今年度は机上訓練や動画視聴を中心に防災委員会を開催しました。定期的に行っている訓練や策定したBCP（事業継続計画）の確認及び評価等を行い、職員の防災意識を高めると共に訓練における改善事項の検討、見直しを行いました。【表3】

## 5. 施設整備

開設以来使用していた特養・ショートステイの介護ベッドの老朽化が激しかったため、入替を行い利用者の方々に快適で安全に過ごしていただけるようにいたしました。また、給水設備・厨房機器においても、老朽化により設備機器の更新を行いました。ICT等の活用については継続して検討を進めてまいります。

【表1-①】

## 2021年度 職員配置及び異動状況

## (1) 配置状況

特養 定員50名 ショート 定員6名

2022年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
施 設 長	1	1		
医 師	必要数		2	内科、精神科
事 務 員		2		
介護支援専門員	1	2(兼務1)		
生 活 相 談 員	1	2		
介 護 職 員	17	16(介護福祉士12)	9(介護福祉士3)	常勤換算21.3人
看 護 職 員	2	2	2	常勤換算3.3人
管 理 栄 養 士	1	1		
調 理 職 員				委託
機能訓練指導員	1	1	1	
クリーンスタッフ			6	
宿 直 員			5	
計	24	27(兼務1)	25	

## 訪問介護事業所

2022年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
管理者	1	1(兼務1)		
サービス提供責任者	3	3		
ホームヘルパー			23	
計	4	4(兼務1)	23	

## 地域包括支援センター

2022年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
主任介護支援専門員	1	1		
社会福祉士	1	1		
保健師	1	1		看護師配置
介護支援専門員	2	2		
訪問支援員	2	2		
事務員			1	
計	7	7	1	

## 生活支援員センター

2022年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
生活支援員	2	2		
計	2	2		

合 計	35	40(内兼務2)	49	
-----	----	----------	----	--

【表1-②】

## (2)職員異動状況

常勤職員 採用

2022年3月31日現在

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
3.4.1	採用	介護職員	1					新卒1名
3.10.1	採用	相談員			1			
4.1.1	採用	相談員			1			
4.2.1	採用	生活相談員	1					

常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
3.4.1	異動	生活相談員	1					育秀苑より
3.4.1	異動	相談員			1			第3育秀苑より
3.9.30	異動	相談員			1			育秀苑へ
3.12.31	異動	相談員			1			育秀苑へ
4.3.31	異動	介護支援専門員	1					育秀苑へ

常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
3.6.30	退職	介護職員	1					
3.10.31	退職	看護職員	1					

非常勤職員 採用

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
3.5.6	採用	介護職員	1					
3.6.1	採用	看護職員	1					
3.9.11	採用	宿直員					1	
3.9.24	採用	クリーンスタッフ					1	
3.11.1	採用	介護職員	1					
3.11.11	採用	介護職員	1					
4.3.1	採用	介護職員	1					

非常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
		該当者なし						

非常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
3.4.11	退職	ヘルパー		1				
3.12.31	退職	ヘルパー		1				
4.3.31	退職	ヘルパー		1				
4.3.31	退職	支援員				1		
4.3.31	退職	宿直員					1	

## 2021年度 職員研修

(外部研修参加一覧表)【表2-①】

部署	研修会名	部署	研修会名
施設長	ハラスメント防止等管理者向けリスクマネジメント研修	特養	認知症介護基礎研修
	財務マネジメント初級研修		介護施設における安全対策担当者研修
	法人間連携研修 (6回/年)		令和3年度ねりまお口すっきり体操講習会
	オミクロンを含むコロナ対策の為のミニ講座&相談会		職員の人材育成ベーシック研修
	経営者が知っておくべき予算統制制と事業計画作成ポイント		令和3年度社会福祉事業従事者人権研修【1】
	特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修		よくわかるLIFE活用術「前編」
	全国老人福祉施設協議会 山口大会 (動画配信)		外国人介護従事者受け入れセミナー
管理課	財務マネジメント初級研修		よくわかるLIFE活用術「後編」
	労務管理に関する講習会の開催について		令和3年度介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修 (施設居住系サービス向け)」
	労苦管理に関する研修会		アクティブ福祉 in 東京'21 (動画配信)
	特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修		東社協生活相談員研修委員会 城西ブロック会
	法人間連携研修 (6回/年)		介護技術に関する研修会
			LIFE (科学的介護情報システム) の活用方法の実践～効果的な活かし方と今後の課題～
訪問介護	令和3年度介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」		明日から実践! 体圧分散ケア
			東京都国民健康保険団体連合会主催令和3年度介護サービス業者支援研修「介護サービス事業者のリスクマネジメントとハラスメント対策」
管理栄養士	栄養ケア・マネジメント研修～令和3年度介護報酬改訂のポイント～		利用者の尊厳を尊重した看取りを行うために
	ミールラウンドでの食事観察～評価・観察ポイントをおさえて食事形態につなげよう～		介護報酬請求事務に関する研修会 (応用編)
生活支援員			読むだけで伝わらない! 介護サービス事業者で使用する契約書の説明の仕方
			オミクロンを含むコロナ対策の為のミニ講座&相談会
			結核予防講演会「高齢者の結核対策～コロナ禍における結核の平常時対策と発生時の対応」
			法人間連携研修 (6回/年)

(施設内研修)【表2-②】

	研修名		研修名
4月	法令遵守・倫理・防災・権利擁護。高齢者虐待・身体拘束・感染症・リスクマネジメント・個人情報 (法人)	11月	看取り介護研修「コロナ禍における看取り介護の経験より」
5月	リスクマネジメント「介護現場のリスクマネジメント」 感染症訓練「新型コロナウイルス感染症対応シミュレーション」		感染症対策研修「冬季感染症対策について」 ハラスメント研修「職場におけるハラスメント」
6月	高齢者虐待防止「不適切ケア」 防災研修「BCPとは」 BCP訓練「地震発生時の初動対応について」	12月	BCP研修「介護事業所におけるBCPについて」
7月	BCP訓練「無線訓練」 感染症対策研修「食中毒予防」	1月	看取り介護研修「利用者の尊厳を尊重した看取りを行うために」
8月	感染症訓練 (手洗い・予防着着用実践) 防災研修 (心肺蘇生とAED)	2月	リスクマネジメント研修「ボジショング・シーティングの実践によるリスクマネジメント」 認知症研修「認知症ケア・精神疾患等の観察・記録のポイント」
9月	褥瘡予防研修「床ずれ対策」 身体拘束適正化研修「代表的な身体拘束/身体拘束がもたらす弊害」	3月	身体拘束適正化研修「不適切ケアとはなにか」

感染症対策の為、書面や動画研修も併用実施。



## 2021年度 防災訓練実施状況 【表3】

実施月	訓 練 内 容
4月	BCP 机上訓練①： BCP の内容を説明して理解を深める 参加者 8 名
5月	BCP 机上訓練②： 大規模地震を想定し、地震発生から概ね 30 分程度までの行動を部署毎に取りまとめる 参加者 8 名
6月	3 施設合同無線訓練①： 3 施設合同無線訓練の実施に当たって、震災発生時の被害状況報告の流れを確認する 参加者 8 名
7月	3 施設合同無線訓練②： 福祉避難所に設置する無線機を使用して、3 施設での合同無線訓練を実施 参加者 8 名
8月	救命処置（心肺蘇生と AED）： 救命処置の手順について、心肺蘇生法と AED の使用手順を動画視聴により学ぶ 参加者 8 名
9月	総合防災訓練①： 11 月に実施する総合防災訓練の手順確認、見直しを協議する。また、災害時にガスが遮断された場合の復旧方法を確認する 参加者 8 名
10月	総合防災訓練②： 総合防災訓練のシミュレーションを実施 参加者 8 名
11月	防災総合訓練③（羽沢町会と合同）： 羽沢町会と合同で防災訓練を実施。地震発生後に 2 階給湯室での出火を想定。訓練終了後は羽沢町会の方と福祉避難所の開設手順や備蓄品の内容を確認する 参加者 13 名、羽沢町会 4 名、練馬消防署員 1 名
12月	BCP 研修： 介護施設・事業所における BCP の必要性や留意点を動画視聴により学ぶ 参加者 7 名
1月	災害備蓄・非常食の確認： 災害備蓄・非常食を確認する共にリストの見直しや必要な物品等を追加することを検討する 参加者 7 名
2月	夜間想定訓練： 夜間想定訓練のシミュレーションを実施 参加者 8 名
3月	夜間想定訓練、福祉避難所開設訓練： 介護職員 2 名、宿直員 1 名の人員体制で 2 階給湯室での出火を想定した訓練を実施 参加者 9 名

# 2021年度

## 第2 育秀苑介護老人福祉施設

### 短期入所生活介護事業 事業報告

#### 2021年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 法人理念に基づき、利用者個々の尊厳を尊重し、個別ケアの実践に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮し、書面での開催も含め、週1回開催するケア会議において、多職種で協議・情報共有により連携を図り、ケアの実施に当たりました。
- ② 法人内3施設合同の会議をオンライン等も活用しながら開催し、業務の標準化やサービスの質の向上について継続的な協議を行いました。
- ③ 『笑顔と心で繋ぐ』を令和3年度のミッションとしました。特養では行動目標を「私たちと利用者様の笑顔あふれる日常が送れるよう、心に寄り添ったケアを大切にします」とし、朝礼での唱和や委員会での振り返りにより一層意識を高め、利用者と職員と一緒に笑顔で日常を送れるよう、日々のレクリエーションの充実や丁寧な声掛けを心掛け、心に寄り添ったサービス提供に結び付けることができました。
- ④ 昨年度に引き続き、面会制限（オンライン面会）や外出行事の規模を縮小してのサービス提供となりましたが、季節毎の行事や普段のご様子、職員の研修等も含めてスタッフブログ、インスタグラムで定期的に配信致しました。また、家族には毎月のお手紙で日々の様子などをお伝えしました。
- ⑤ 地域の福祉拠点として、第2 育秀苑地域包括支援センターとの連携により、地域の方々のご様子やニーズを把握・確認しました。緊急ショートステイの受入れ等、関わりを持つ事で次年度以降への繋がりを継続しました。

##### 2 サービス向上に対する取り組み

- ① 日々のケアにおいて利用者の意向を汲み取り、利用者本位のサービス提供に努めました。ケアプラン作成においても利用者・家族の意向を反映し、ケアを実践する事で一層のサービス向上に繋がりました。認知症介護基礎研修へ参加し、介護職員の認知症ケアの専門性の向上に繋がりました。
- ② 機能訓練指導員による個別機能訓練を中心に、日常生活動作の中でも残存機能を活かしたケアを行うことで生活リハビリに繋がりました。看護職員、理学療法士とも連携を図り、多職種協働で利用者の有する能力の維持に努めました。
- ③ 年度の節目に職員の目標設定を個々で行い、書面や面談等を通じて把握し、資格取得や実践したい事について支援しました。また法人のレベル別研修、施設内研修、外部研修への参加については、感染状況に合わせ、オンラインでの開催・参加も踏まえながら計画的に行いました。

- ④ サービス向上委員会を中心に、年2回の「虐待の芽チェックリスト」を実施しました。集計結果をフィードバックし、振り返りや実践に移す事でより良いサービスの提供に繋がりました。
- ⑤ 定期的に介護機器や設備の点検を行い、必要に応じて改修、更新することで、利用者、職員共に安心・快適に過ごしていただけるよう施設環境を整えました。

### 3 経営基盤の安定

- ① 感染症発生時のマニュアル作成、災害時事業継続計画（BCP）の策定、見直しを行い、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制づくりを行いました。また、ガウンテクニックや災害時を想定した訓練や研修などを計画的に実施しました。

#### ② 特別養護老人ホーム

2021年度年間稼働率は97.2%（前年度98.1%）でした。前年度と比較すると1%程度稼働が下がりました。前年度は入院者が7名だったことに対し、本年度は22名と約3倍になったことが大きな要因として挙げられます。入退所の件数は前年度同様8件となりました。退所から入所までの平均空床期間は15.6日（前年度12.6日）でした。空床期間は積極的にショートステイの受け入れについても検討しましたが新型コロナウイルス感染症の影響で受け入れが出来ない時期もあり、特養ショート総ベッド稼働率は97.0%（前年度99.8%）となりました。

#### ショートステイ

2021年度年間稼働率は89.1%（前年度104.3%）でした。6月、2月に新型コロナウイルスの発生があり、ショートステイ受け入れを中止したことが、稼働率低下に大きく影響しました。新規利用者については21名となり、前年度14名を大きく上回りました。今後も感染症対策を徹底しながら新規利用者の獲得、定期利用者の確保に積極的に取り組んでいきます。

- ③ 人材育成や外国人受け入れについての研修へ参加し、働き甲斐のある職場づくりに取り組みました。また、タブレット端末を取り入れ、介護記録の効率化の為の環境整備も行いました。
- ④ 毎月衛生委員会を開催し、職員の衛生管理の意識向上を図りました。また、合同医務会議を通じて主に感染症対策について法人で統一した対策方法の見直し等を行いました。
- ⑤ 情報セキュリティ対策について3施設合同で情報収集を行い、今後の方針について検討を行いました。

### 4 働きやすい職場作り

- ① コロナ禍でも職員が安心して就業できるよう、パーテーションの導入や消毒、換気の徹底、休憩場所を部署ごとに分ける等の環境づくりを行いました。
- ② 目標管理制度やキャリアパス制度の活用により、個々の専門性を高めるとともに、職員の能力に応じた指導を行うなど、人材の育成に努めました。
- ③ 職員面談等により、ライフステージの変化等を把握、加味した上で、人員配置、業務内容の見直しを行う等して職員の能力が発揮できるよう職場環境を整えました。
- ④ タブレット端末の活用により、一部業務の効率化、利用者のサービスの質向上に取組

みました。引き続き効率的な ICT 機器導入、活用に向けて随時見直しや検討を行い、業務負担軽減に繋がるよう取り組みます。

- ⑤ オンラインを中心に研修を開催したほか、職員の資格取得等の支援に繋がるよう情報提供や援助を行いました。

## 5 地域貢献への取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の催しへの参加などは中止となりましたが、地域包括支援センターと連携し、地域ニーズの把握を行いました。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施設の地域開放の再開に向け、地域が求める福祉拠点としての役割を再認識し準備しました。
- ③ 練馬地域の社会福祉法人が参加する「ねりま社会福祉法人等のネット」のメンバーとして継続して参加いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により対面でのイベント実施には至りませんでした。それぞれの法人の課題を共有しながら、今後の活動について社会福祉協議会や参加法人と協議しました。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の保育園、小中学校からの職業体験の受入れや、職員派遣については中止となりましたが、昨年度より引き続き、近隣保育園の園児や、地域の傾聴ボランティアグループより、利用者宛に作品や絵手紙を贈って頂いており、利用者が作った作品やお手紙を贈る等の交流を継続しました。
- ⑤ 練馬区のガイドラインに基づき、災害時の要援護者の受入れについて、会議や研修を通じて体制の確認を行いました。

地域の方との合同防災訓練は感染症の影響により人数や内容を制限した形での実施となりました。また、地域防災への取り組みとして、福祉避難所（二次避難所）の開設や運営について意見交換を行いました。

【表1】

## 特養稼働表

2022年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,500	1,472	98.1%
5月	1,550	1,477	95.3%
6月	1,500	1,460	97.3%
7月	1,550	1,471	94.9%
8月	1,550	1,503	97.0%
9月	1,500	1,442	96.1%
10月	1,550	1,489	96.1%
11月	1,500	1,456	97.1%
12月	1,550	1,544	99.6%
1月	1,550	1,522	98.2%
2月	1,400	1,388	99.1%
3月	1,550	1,520	98.1%
合計	18,250	17,744	平均 97.2%

(前年度平均 98.1%)

【表2】

## 在籍状況及び理由別入退所状況

2022年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所								
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計	
4月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	50	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
6月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	50	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2
8月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	50	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10月	49	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2
11月	48	2	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1
12月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	50	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計	597	4	1	3	0	8	5	3	0	0	0	0	0	0	8

○2021年度の死亡退所者は5名、内4名は苑で看取りました。

【表3】

## 年齢・性別一覧

2022年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	0	1	1
75歳以上80歳未満	0	1	1
80歳以上85歳未満	1	5	6
85歳以上90歳未満	4	14	18
90歳以上95歳未満	2	9	11
95歳以上100歳未満	1	10	11
100歳以上	0	2	2
計	8	42	50
平均年齢	88.4 (88.5)	89.9 (90.5)	89.6 (90.2)

( )内は前年度

○昨年比、男女共に平均年齢が下がりました。

○最高齢 104歳・最年少 70歳

【表4】

## 要介護度構成

2022年3月31日現在

2021年3月31日現在		2022年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	1	要介護度 2	0
要介護度 3	3	要介護度 3	3
要介護度 4	30	要介護度 4	24
要介護度 5	16	要介護度 5	23
計	50	計	50
平均	4.22	平均	4.40

※昨年比、平均要介護度が0.18上昇しました。

【表5】

## 在所期間

2022年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	2	6	8
1年以上2年未満	1	6	7
2年以上3年未満	0	7	7
3年以上4年未満	2	5	7
4年以上5年未満	1	5	6
5年以上6年未満	0	0	0
6年以上7年未満	1	3	4
7年以上8年未満	1	0	1
8年以上9年未満	0	4	4
9年以上10年未満	0	1	1
10年以上	0	5	5
計	8	42	50

○在所期間が最長の方は12年1か月入所されています。

【表6】

＜身辺自立状況＞  
日常生活動作等の状況

2022年3月31日現在

入所者の日常生活動作等の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	21人 (20人)	21人 (23人)	一部:歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部:自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	14人 (15人)	7人 (7人)	一部:スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部:全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	30人 (31人)	18人 (17人)	一部:介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部:常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	36人 (38人)	13人 (12人)	一部:手を貸せば、着脱できる。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	7人 (8人)	43人 (42人)	一部:身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	40人 (39人)		自走:2人(2人)、一部介助:17人(15人)、全介助:21人(22人)
認知症	46人 (47人)		認知症老人とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が中度以上でその状況が、継続すると認められる者をいう。	

※ ( )内は前年度の数字

【表7】

＜事故・ヒヤリハット報告＞

計 391件 (440件)	287件 (285件)	・ヒヤリハット報告(見逃せば事故につながった可能性が強いもの)
	104件 (155件)	・事故報告(行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの)

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	2 (3)
転倒・転落・滑落	27 (41)
外傷	37 (45)
異食	7 (2)
誤嚥	0 (2)
誤薬	3 (5)
その他	30 (60)
計	106 (158)

※ ( )内は前年度の数字

【表8】

## ＜入所者ならびに職員の健康診断状況＞

## (ア) 入所者

2022年3月31日現在

		人 数	検 査 内 容
入所者の誕生日検診	実人数	60名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査（体調不良時など	延人数	21名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

## (イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
8 月	49名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 腰痛健診（問診含む）・希望者は胃透視
3 月	19名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重・腰痛健診（問診含む）

## (ウ) インフルエンザ予防接種

入所者	48名
職 員	48名

## (エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

1回目	利用者	48名
	職 員	40名

2回目	利用者	48名
	職 員	40名

3回目	利用者	46名
	職 員	56名



【表9】

## ＜療養食＞

2022年3月31日現在

食種	糖尿食	糖尿・減塩食	減塩食
人数	0	1	2

【表10】

## ＜行事食＞

・行事食実施回数 年23回

2022年3月31日現在

月	日	行事名	内容
4	1	お花見	桜ちらし、すまし汁、菜ばなの胡麻和え、苺ババロア おやつ：桜まんじゅう
5	5	子供の日	オムライス、コンソメスープ、エビフライ、フルーツ おやつ：鯉のぼりゼリー
	9	母の日	ちらし寿司、すまし汁、竹の子とあさりの酢味噌和え、フルーツ おやつ：ねりきり（カーネーション）
6	20	父の日	天井、すまし汁、わかめと胡瓜の酢の物、フルーツ おやつ：ねりきり（あじさい）
7	7	七夕	七夕そうめん、五目玉子焼き、冬瓜のくずあん、フルーツ おやつ：夏のねりきり
	28	土用の丑の日	鰻ちらし、すまし汁、切昆布の煮物、フルーツ
	8	納涼祭	焼きそば、和風サラダ、チョコバナナ おやつ：アイスクリーム
8	15	終戦記念日	十五穀ご飯、けんちん汁、精進揚げ、ほうれん草のお浸し、抹茶水羊羹小豆がけ
9	12	敬老会	栗おこわ、吸物、天ぷら、松風焼き、炊き合わせ、紅白なます、葡萄ムース おやつ：寿の日饅頭
	21	十五夜	お月見そば、海老しんじょう、抹茶あんみつ おやつ：ねりきり（うさぎの月）
10	23	秋のお彼岸	おはぎ、豚汁、冬瓜のカニ風味あんかけ、酢味噌和え
11	3	文化の日	吹き寄せ御飯、吸物、さんまの塩焼き、柿なます、マロンババロア おやつ：ねりきり（秋の彩）
12	22	冬至	ご飯、粕汁、鰹の山椒焼き、かぼちゃのいとし煮、かぶの柚子和え
	24	クリスマス	チキンライス、コンソメスープ、ミートローフ、シーフードサラダ おやつ：ホワイトチョコムース
	31	大晦日	年越し蕎麦、筑前煮、フルーツ
1	1	正月祝膳	五目ちらし寿司、吸物、ぶりの照り焼き、紅白なます、伊達巻、炊き合せ、かまぼこ、デザート おやつ：まんじゅう（雪花うさぎ）
	2	ミニ祝膳	赤飯、味噌汁、赤魚の塩焼き、里芋のそぼろあん、フルーツ おやつ：上用まんじゅう（干支）
	7	七草	七草粥、いわし蒲焼、白菜のごままぶし、梅干し
	11	鏡開き	三色もちもどき（小豆、ゴマ、きなこ）、豚汁、あさりとわけぎのぬた、フルーツポンチ
2	3	節分	のり巻き、いなり寿司、粕汁、南瓜のいとし煮、大豆の五目煮 おやつ：ねりきり（赤鬼）
	14	バレンタインデー	菜飯、味噌汁、ハートのミートコロッケ、いんげんと竹輪の炒め煮、チョコババロア（いちごのせ）
3	3	ひな祭り	ひなちらし、吸い物、ふきの炒り煮、菜の花の酢味噌和え、白桃羹 おやつ：おびな・めびなまんじゅう
	21	春のお彼岸	三色おはぎ、けんちん汁、ふきの煮物、いちごミルク

## その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（月2回）

【表11】

## &lt;家族との連携状況&gt;

2021年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	10	0	0	0	10	16	27	36	45	18	5	9

※10/19～1/8まで対面式面会実施。その他はZOOM面会。

計 176人 月平均 14人

- (2) 外泊の状況について  
○ 外泊者は0名でした。

- (3) 家族との連絡  
○ 定期的連絡 年12回(毎月の利用者の様子、行事等のお知らせを送付)  
○ 介護保険に関する連絡 随時  
○ 利用者の健康状態などについての連絡 随時  
○ ケアプラン、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 随時

【表12】

## &lt;実習生の受け入れ状況&gt;

2022年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
上智社会福祉専門学校	介護福祉士取得	2人	31日	特養
日本福祉教育専門学校	社会福祉士取得	1人	26日	特養・包括
東京心理音楽療法専門学校	介護福祉士取得	1人	14日	特養
東京福祉保育専門学校	介護福祉士取得	2人	28日	特養
計		6人	99日	

## &lt;地域との連携(社会資源)及び、ボランティア活動&gt;

2022年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
縫い物グループ	介護用品小物作成・利用者衣類修理	0人	無
東京福祉会	葬祭等相談・供養会・イベント紹介	0人	無
書道教室	書道指導	0人	無
配膳ボランティア	ホーム喫茶	0人	無
ドッグセラピー	ドッグセラピー(犬4頭)	0人	無
音楽療法	音楽療法	0人	有
ハンドケアボランティア	ハンドマッサージ・傾聴	0人	無
傾聴ボランティア	傾聴	0人	無
傾聴レクボランティア	傾聴・レク	0人	無
介護サポーター	介護補助	0人	無
行事ボランティア	行事アトラクション	0人	無

【表13】

## &lt;クラブ(サークル)参加状況&gt;

2022年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
書道	0名	職員	無	無
口腔体操	55名	職員	無	毎日
手工芸	0名	職員	無	随時

【表14】

## 2021年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内容
4	～末日		花見	桜の花びらを作成し、開花時期に合わせて花びらを模造紙の木の部分に貼っていきました。満開になった後、お一人ずつ写真撮影を行いました。
5	1～5	土～水	端午の節句	五月人形と、こいのぼりを飾り、同時に写真撮影を行いました。菖蒲湯を行い、菖蒲の香りを感じて頂きながら入浴を行いました(5/3～5)。
	9	日	母の日	2階、3階各フロアにて和菓子と緑茶をふるまい、お茶会を開催しました。テーブルにカーネーションを飾り、利用者様にブーケを持って頂き、写真撮影を行い、母の日をお祝いしました。
6	20	日	父の日	当日までに、アジサイの塗り絵を行い、それを壁に貼って写真撮影を行いました。男性には感謝状を送りました。アジサイ白餡の上用饅頭を利用者皆様に召し上がって頂きました。
7	5	月	七夕	事前に短冊・七夕飾りを利用者様と一緒に作成しました。当日は、2階、3階にて笹を間近に眺めながら、七夕の由来や物語を説明し、短冊を紹介しました。
5～9			アサガオ栽培鑑賞	4月下旬から1階花壇、2階・3階フロアバルコニーにてアサガオを育てました。生育する過程から鑑賞するまでを楽しむことが出来ました。
7～9			納涼うちわ染物制作	アサガオの花を染料にして、うちわを作成・展示しました。
9	12	日	敬老祝賀会	長寿者の健康長寿を利用者様と祝い、式典・祝膳を楽しんで頂きました。今年度節目を迎えられる利用者様を紹介し賞状をお渡ししました。
10	1～31		紅葉の作品作り外気浴	秋の風景となるように紅葉の葉を作成し、貼り付けることで紅葉した木を背景に写真撮影を行いました。
11	8～21		利用者作品展示会	1年間を通して利用者様が作成した作品を展示しました。四季折々の作品を展示し、鑑賞し振り返ることで季節を感じ、楽しんでいただきました。
12	19	日	クリスマス会	職員によるハンドベル演奏、二人羽織を披露しました。サンタクロースとの記念撮影やクリスマス用のお饅頭を用意しその雰囲気を楽しみました。
12	20～22	月～水	冬至(ゆず湯)	湯船に柚子を浮かべ、柚子の入浴剤も使用することで、色や香りで柚子湯を楽しんで頂きました。
1	1	土	新年祝賀会	厨房職員手作りのおせち料理を頂き、新年のお祝いをしました。
1	7・9	金・日	新年会	年初めの行事として一昨年作成した鳥居にお参りをし、おみくじを引いて頂き、記念撮影をしました。
2	3	木	節分	鬼に扮した職員が練り歩き、丸めた新聞紙を豆にして撒いて頂きました。招福と健康祈願を行いました。
3	3	水	ひな祭り	雛人形を飾り、ちらし寿司やひな饅頭を召し上がり、桃の節句を祝いました。ひな祭りにむけての飾りを利用者様と作成し季節感を味わいました。

通 年	金管楽器音楽会		感染症予防対策のため未実施
	誕生日会	各誕生日	各利用者の誕生日当日に誕生日カードをお渡しし、みんなでお祝いをしました。
	ドックセラピー		感染症予防対策のため未実施
	被服販売会		感染症予防対策のため未実施

【表15】

## ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規 利用者数
	枠	利用日数	利用率(%)	利用可能 日数	利用数	利用率	
4月	180	185	102.8	28	6	21.4	0
5月	186	183	98.4	73	20	27.4	2
6月	180	179	99.4	40	16	40.0	1
7月	186	93	50.0	79	0	0	1
8月	186	168	90.3	47	13	27.7	3
9月	180	159	88.3	58	18	31.0	1
10月	186	135	72.6	61	35	57.4	4
11月	180	168	93.3	44	16	36.4	4
12月	186	193	103.8	6	0	0	2
1月	186	196	105.4	28	0	0	1
2月	168	123	73.2	12	6	50.0	1
3月	186	169	90.9	30	1	0.5	1
合計	2,190	1,951	平均 89.1	506	131	平均 25.9	21名
	(前年度平均 104.3%)			(前年度平均 58.7%)			

【表16】

## ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	57	4	73	48	7	189
5月	0	0	56	29	54	53	11	203
6月	0	0	39	27	63	38	28	195
7月	0	0	19	8	42	16	8	93
8月	0	0	22	12	91	44	13	182
9月	0	0	27	13	90	33	14	177
10月	0	0	27	11	85	17	30	170
11月	0	0	37	18	81	30	18	184
12月	0	0	28	14	83	53	15	193
1月	0	0	30	12	98	44	12	196
2月	0	0	20	13	47	38	11	129
3月	0	0	22	15	55	58	19	169
合計	0	0	384	176	862	472	186	2,080
%	0%	0%	18.5%	8.5%	41.4%	22.7%	8.9%	100%

# 2021年度

## 第2育秀苑訪問介護事業 事業報告

### 2021年度の重点課題

#### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 年度初めに行っている総会は、感染対策により本年度も開催出来ませんでした。ヘルパー通信を発行し法人理念等を訪問介護員に再確認してもらえるよう努めました。
- ② 合同サービス提供責任者会議において、情報の共有等を行い施設間の標準化を図りました。
- ③ 第2育秀苑のミッション『笑顔と心で繋ぐ』を遂行するため、訪問介護では「利用者様・ご家族と信頼関係で繋がれるよう真心と笑顔で接します」と定め取り組みました。利用者の話を傾聴し、笑顔で心のこもったサービスを行うことで、利用者、家族、各関係機関と信頼関係を築けるよう努めました。
- ④ ホームヘルプサービス事業を身近に感じていただけるよう、事業の取り組み、日常の様子等を育秀会だよりやスタッフブログ、インスタグラムで情報を発信しました。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも地域住民の方が安心して在宅での生活が送れるよう、地域包括支援センターと連携を図りました。

#### 2 サービス向上に対する取り組み

- ① 研修等で認知症の方への理解を深め、ケア方法を見直し、適切な訪問介護サービスの提供ができるよう努めました。
- ② 定期的なアセスメントを実施し状態や状況の変化をケアマネジャーに報告することで多職種間と連携を図り、利用者それぞれに合ったケアが行えるよう取り組みました。
- ③ サービス提供責任者はオンライン研修等に参加し知識の習得と介護技術の向上に努めました。訪問介護員に対してもオンライン研修や書面研修を行い、介護技術の向上に繋げる事が出来ました。また、必要に応じて臨時会議を開催し困難事例等の検討を行い、信頼を得られる事業所になるよう努めました。
- ④ お客様アンケートを実施し、回収率は50%でしたが、サービス提供内容については70%以上の方に「満足している」との回答を得ました。その他ご意見等をふまえ利用者のニーズやご意見に応えるようサービスの向上に努めてまいります。  
また、訪問介護員の能力、勤務状況などに応じて個々の活動の評価を実施し、評価による処遇改善を行いました。サービス提供責任者については、定期的また必要に応じて会議を開催し、困難事例等の検討や必要書類の確認等を行い、信頼される事業所になるよう努めました。

### 3 経営基盤の安定

- ① 新型コロナウイルス感染症に感染した職員が出た際、すぐに利用者、家族、ケアマネジャーに報告し必要な検査を実施する等の迅速な対応を行うことで、信頼関係を崩すことなくこれまで通りのサービスを継続することが出来ました。
- ② 利用登録者数 150 件を目標とし、確かなサービスの提供を心がけ令和 4 年 3 月現在の登録者数は 140 件（派遣数 138 件）となっています。  
サービス提供責任者は、他事業所への報告、連絡を密に行うことで信頼され選ばれる事業所になるよう努めた結果、入院また終了するケースが増える中、毎月新規利用者の紹介をいただき件数を維持することが出来ました。  
また、「日常生活支援総合事業」については、一人ひとりに合った時間設定、サービス内容を提案し自立支援に向けたサービスの提供を行いました。
- ③ 訪問介護員が利用者へのサービスに対して不安や疑問を持った時には、サービス提供責任者が話を聞いて解消し、コミュニケーションを大切にすることで長く働き続けてもらえるよう努めました。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の対策として、サービス提供責任者、訪問介護員共に施設内で行う感染症の研修（オンライン研修含む）に参加しました。日々の感染症対策により、安心してサービスを受けて頂ける様、通年取り組みを継続しました。
- ⑤ 個人情報保護の研修で多様化する情報の取り扱いに対応できるよう、意識向上を図りました。

### 4 働きやすい職場作り

- ① 職員それぞれに合った働き方の検討・提案を行うことで、働きやすい職場環境づくりに努めました。
- ② 年 2 回、訪問介護員の能力、勤務状況などに応じて個々の活動の評価を実施しました。また、随時面談を実施し一人ひとりの仕事への意欲の向上を図りました。
- ③ 訪問介護員が家庭と仕事の両立ができるよう、気軽に相談の出来る環境を整えました。
- ④ 訪問介護員には練馬区の資格取得受講料助成制度などの情報を提供し、資格取得に繋がる支援を行いました。

### 5 地域貢献への取り組み

- ① 地域の事業所と連携を図り、多様なニーズに応えられるようサービスの提供を実施しました。今後も「日常生活支援総合事業」を含め、地域の方に訪問介護への理解を深めて頂き、住み慣れた地域や自宅での生活が安心して継続できるようサービス提供していきます。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は実習生の受け入れは行わず、次年度以降の準備期間としました。
- ③ 施設が実施する大規模災害時を想定した防災訓練に参加しました。

【表1】

## 登録者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣数	138	136	130	129	128	130	126	130	127	131	127	119	1,551 (1,661)	129 (138)
新規契約	2	1	3	3	5	1	6	6	7	3	4	2	43 (30)	4 (3)
入院	8	7	5	6	4	8	4	7	3	3	5	5	65 (50)	5 (4)
廃止	2	3	9	3	5	2	5	2	6	6	4	7	54 (32)	5 (3)
派遣時間	1,228.4	1,208.5	1,167.9	1,144.9	1,163.4	1,109.4	1,144.1	1,155.1	1,179.5	1,117.8	1,023.1	1,064.8	13,706.9 (14,664)	1,142 (1,222)

( )内は昨年度

【表2】

## サービス種別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	昨年度
生活援助	26.7%	27.4%	29.0%	29.8%	29.4%	29.4%	28.5%	29.0%	29.5%	30.4%	31.3%	31.9%	29.4%	32.8%
身体介護	32.8%	31.2%	31.5%	31.4%	31.3%	29.9%	30.8%	31.4%	30.9%	29.4%	28.3%	27.1%	30.5%	31.3%
身体生活	24.2%	25.0%	23.1%	21.2%	21.6%	23.6%	23.5%	22.1%	23.4%	25.7%	24.1%	23.5%	23.4%	16.1%
総合事業	16.3%	16.4%	16.4%	17.7%	17.6%	17.1%	17.1%	17.5%	16.1%	14.5%	16.4%	17.5%	16.7%	19.9%

【表3】

## 介護度分布

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
事業対象者	7	6	8	9	11	10	10	10	10	10	10	8	109	124
要支援1	11	11	11	11	10	10	11	12	12	13	13	14	139	177
要支援2	20	21	18	17	17	19	19	17	16	15	16	16	211	265
要介護1	25	25	27	28	26	26	26	25	26	28	24	19	305	329
要介護2	46	45	38	38	41	41	39	41	39	42	39	41	490	404
要介護3	19	18	18	17	16	16	14	18	17	15	18	14	200	191
要介護4	4	4	4	4	2	3	2	2	2	3	1	1	32	59
要介護5	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	6	6	65	88
自費サービス	15	8	16	14	17	14	12	19	25	16	16	15	187	247
合計	153	144	146	143	145	144	138	149	152	147	143	134	1,738	1,884

2021年度

事業報告

第3育秀苑



## 2021年度

### 第3育秀苑事業報告

2021年度の新型コロナウイルス感染症発生状況については、家庭内感染による自宅待機中に感染した職員はありましたが、2020年度の感染拡大時の学びを活かし、施設内で感染者を出すことなく事業を継続することが出来ました。

第3育秀苑ミッションは、「together ～共に笑い 共に寄り添い 共に歩む～」を前年度から継続し、個人目標を立て、職員一人一人が利用者、家族に寄り添ったケアの実施に努めました。

練馬区内の7法人で法人間連携研修を行いました。オンラインを利用し各施設の取組みを発表、また人材交流に参加しました。

光が丘地区の「ねりま社会福祉法人等のネット」オンライン連絡会に参加し、地域福祉向上に向けて、地域課題の共有を図りました。

土支田町会第一支会へ当施設や福祉避難所に対するご理解とご協力をお願いし、災害活動相互応援協定を結ぶことが出来ました。万が一の災害時協力体制と、地域交流活動について確認を行いました。また、地域の避難拠点である豊溪小学校の防災訓練に参加しました。

#### 1. 職員配置の状況

2022年3月31日現在、常勤職員51名、非常勤職員48名、計99名体制で職員を配置しました。【表1-①】

#### 2. 職員採用

2021年度の採用、退職は【表1-②】の通りです。

- 1) 正規職員は新規採用者3名、他部署からの異動1名、他部署への異動1名、退職者2名でした。
- 2) 非正規職員は新規採用6名、退職者3名でした。
- 3) 非常勤職員から正規職員への登用を2名行いました。

#### 3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症予防のため施設内研修は書面が多くなりましたが、全職員が参加できるなど書面開催の良さを知ることができました。また、外部研修では、オンラインや動画視聴を活用し例年以上の参加ができました。【表2】

#### 4. 防災管理

- 1) 防災委員会を毎月1回開催し消火訓練、通報訓練、誘導訓練、総合訓練を繰り返し実施しました。【表3】

2) BCP は実際に対応することになる、特養職員にも合同 BCP 会議に参加してもらい内容について協議しました。

## 5. 施設整備

1) 東京都の次世代介護機器導入支援補助金事業を活用し、全館 Wi-Fi 設備の整備、職員及び利用者の負担軽減などに効果がある見守りセンサー2種類を合計7台導入しました。

2) ショートステイ送迎車両の契約満了にともない、リクライニング車椅子が使用でき、以前よりも多く乗車できる車両を新規でリース契約しました。

3) ストレッチャー浴の対象者が増えたため、リクライニングや昇降できるシャワーストレッチャーを購入しました。

4) 開設時より使用しているエアマットが複数台故障したため、必要時に衛生的に使用できるようレンタル契約にしました。

【表1-①】

## 2021年度 職員配置及び移動状況

## (1) 配置状況

特養 定員60名 ショート 定員6名

2022年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
施設長	1	1		
医師	1		2	内科、精神科
事務員		2(兼務2)	1	
介護支援専門員	1	1(兼務1)		
生活相談員	1	3(兼務2)		
介護職員	19	24(介護福祉士19)	9(介護福祉士5)	常勤換算30.3人
看護職員	3	4(兼務4)	1(兼務1)	常勤換算4.2人
管理栄養士	1	1		
調理職員				委託
機能訓練指導員	1	1		
清掃員			7(兼務1)	
宿直員			1(兼務1)	管理夜勤
計	29	36(兼務9)	21(兼務3)	

デイサービスセンター(認知) 定員 24名

2022年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
管理者	1	1(兼務1)		
事務員		1(兼務1)		
生活相談員	1.2	2(兼務2)		
介護職員	4(看護職員含む)	2(兼務2)	6(兼務3)	常勤換算5.2人
看護職員		4(兼務4)	1(兼務1)	常勤換算1人
機能訓練指導員	1		1	
運転手			5(兼務3)	
計	7.2	10(兼務10)	12(兼務7)	

訪問介護事業所

2022年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
管理者	1	1(兼務1)		
サービス提供責任者	2	3(兼務3)		
ホームヘルパー		3(兼務3)	19(兼務1)	
計	3	7(兼務7)	19(兼務1)	

居宅介護支援事業所

2022年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
管理者	1	1(兼務1)		
介護支援専門員	2	3(兼務1)		
計	3	4(兼務2)		

地域包括支援センター

2022年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
社会福祉士	1	1		
主任介護支援専門員	1	1		
保健師(看護師)	1	1		
訪問支援員	2	2		
プランナー	2	2		
事務員	1		1	
計	7	7	1	

合計	49.2	64(内兼務28)	53(兼務11)	
----	------	-----------	----------	--

【表1-②】

## (2) 職員異動状況

## 常勤職員 採用

2022年3月31日現在

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2021.6.1	採用	介護職員	1						
7.1	採用	介護職員	1						非常勤⇒常勤
8.1	採用	介護職員	1						
11.1	採用	介護職員	1						非常勤⇒常勤
2022.1.1	採用	相談員					1		

## 常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2022.1.31	異動	介護職員	1						育秀苑へ
2.1	異動	介護職員	1						育秀苑より

## 常勤職員 退職

年月日	退職	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2021.10.19	退職	介護職員	1						常勤⇒非常勤
12.31	退職	介護職員	1						

## 非常勤職員 採用

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2021.4.1	採用	介護職員		1					
4.1	採用	クリーンスタッフ						1	
10.11	採用	ヘルパー			1				
10.20	採用	介護職員	1						常勤⇒非常勤
10.27	採用	介護職員	1						
11.15	採用	ヘルパー			1				
2022.1.1	採用	事務員					1		

## 非常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2021.12.31	退職	事務員					1		
2022.1.31	退職	ヘルパー			1				
3.22	退職	介護職員		1					

## 2021年度 職員研修 【表2-①】

(外部研修参加一覧表)

部署	研修会名	部署	研修会名
施設長	ユニットケア施設管理者研修	居宅	東京都認定調査員新規研修
	よくわかる！LIFE活用術		認知症の人の不安や混乱を安心に変えるケア
	社会福祉法人・施設 会計決算実務研修会		ケアプラン点検協力者向け説明会
	高齢者福祉施設におけるサービスマナー研修会		高齢者の食事と栄養の基礎知識
	部下・後輩を育てるコーチング研修		処置が必要な人への理解を深める
	中長期計画策定セミナー		精神障害の理解と支援方法について～発達障害を理解する
	人事管理・リーダー育成セミナー		虐待・グレーゾーンについて考える
	介護現場におけるハラスメント対策		BCP作成webセミナー
	全国老人福祉施設協議会 山口大会（動画配信）		円滑な入退院連携支援のために
	経営実態調査フォローアップ研修		地域の防災について学ぼう～ケアマネジャーの視点で
管理課	応研オンラインセミナー介護職員処遇改善支援補助金	居宅	自然災害発生時における業務継続計画
特養	人事管理・リーダー育成セミナー		介護保険認定調査員実践研修
	感染症リーダー養成研修		高次脳機能障害を知ろう
	介護サービス事業所で使用する契約書の説明の仕方		今井塾 低所得者施策
	よくわかる！LIFE活用術		応研オンラインセミナー介護職員処遇改善支援補助金
	ヒヤリハット事例を交えたリスク管理の重要性と福祉用具を使った安全で質の高いケア		コロナ禍で変わったターミナルケアに私たちはどう対応するのか
	新型コロナウイルスと向き合う生活相談員～コロナ禍で頑張る生活相談員へ		看取りを見据えて利用者の暮らしをサポートすることの理解を深める
	ユニットリーダー研修		ALS患者の在宅ケアを通してその人らしい生活を支える
	利用者の尊厳を尊重した看取りを行うために		認知症実践者研修
	施設職員向け福祉用具講習会（実践型）		認知症対応型デイサービス事業管理者研修
	介護技術に関する研修会	訪問	自然災害発生時における業務継続計画
介護報酬請求事務に関する研修会（応用編）			
安全対策担当者研修			

(施設内研修) 【表2-②】

	研修名		研修名
4月	虐待防止・身体拘束廃止①	10月	BCP(防災)
5月	リスクマネジメント①	11月	感染症予防②(冬季感染対策)
6月	感染症予防①(食中毒)	12月	権利擁護・個人情報保護
	職場のハラスメント①(書面)	1月	介護現場におけるハラスメント③(書面)
	衛生講話		リスクマネジメント②(オンライン)
7月	看取りの流れ①		感染症対策シミュレーション②嘔吐物処理
8月	認知症	2月	身体拘束による弊害②(書面)
	感染症対策シミュレーション①(書面)	3月	介護施設での看取り介護②(書面)
9月	褥瘡予防		

## 2021 年度 防災訓練実施状況 【表 3】

実施月	訓 練 内 容
4 月	防災機器説明、拠点避難所、福祉拠点避難所： 消火器、消火栓、自動火災報知機、スプリンクラー止水等使用方法の確認 拠点避難所経路及び場所の確認、福祉拠点避難の説明 参加者 12 名
5 月	BCP（事業継続計画）図上訓練： BCP（事業継続計画）図上訓練を実施 参加者 10 名
6 月	消火器及び散水栓の実放水訓練： 水消火器、散水栓を実際に使用した訓練を実施 参加者 13 名
7 月	三施設合同無線機訓練： 各施設合同で、無線機を使用した情報共有訓練を実施 参加者 12 名
8 月	非常時の対応について： BCP（事業継続計画）を書面にて回覧し、非常時の対応について回答を回収した
9 月	緊急事態宣言発令中のため、開催中止
10 月	福祉避難所開設訓練： 福祉避難所開設時の設営訓練を実施 参加者 11 名
11 月	避難訓練（昼間想定）： 昼間に 4 階西ユニットから出火を想定した訓練を実施 参加者 11 名
12 月	BCP 図上訓練、防災グッズ確認： 新たに作成した BCP の内容を確認しながら図上訓練を実施。各事業所に設置している防災 グッズの内容を確認 参加者 9 名
1 月	緊急事態宣言発令中のため、開催中止
2 月	避難訓練（夜間想定）： 夜間に 4 階西ユニットから出火を想定した訓練の流れを回覧
3 月	避難訓練（夜間想定）： 夜間に 4 階西ユニットから出火を想定した訓練を実施 参加者 7 名

## 2021年度

### 第3育秀苑 介護老人福祉施設

#### 短期入所生活介護事業 事業報告

##### 2021年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 施設内研修や各委員会等で基本精神・法人理念を再確認し、安心・安全に生活できるように多職種と連携を図り、サービスの質の向上を図りました。
- ② 合同相談員会議、合同医務会議、合同管理栄養士会議に参加し、サービスの標準化を図り情報共有しました。
- ③ 第3育秀苑ミッション「together ～共に笑い 共に寄り添い 共に歩む～」に沿って、利用者・家族の意向を尊重し、職員一人一人が目標を立て取り組みました。
- ④ ホームページのスタッフブログを活用し、季節行事や保育園との交流などの様子を発信しました。
- ⑤ 地域の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと連携し、自分らしい暮らしを人生の最期まで継続できるように支援しました。

##### 2 サービス向上に対する取り組み

- ① 個別ケア充実のため、利用者の体調変化等に多職種でミニカンファレンスを都度開き対応しました。iPad導入で業務の効率化、情報共有を図りました。施設内研修を実施し、認知症に対する知識を深め、ケアの統一を図りました。
- ② 居室担当が中心となり、各利用者のアセスメントを行い、その方のADLやニーズ、ストレンクス等を把握し、情報共有を行いました。また、ケア会議を通じて多職種からアセスメント情報や意見を精査し、様々な角度から支援計画を立てる事で自立支援、重度化防止を行いました。
- ③ 法人内研修や、外部研修を利用し職員のスキルアップを図りました。前年度に引き続き、オンライン研修や動画視聴を利用する事で、コロナ禍でも安心安全に参加できるよう配慮しました。
- ④ 利用者満足度調査においては、昨年度に引き続き、満足・やや満足とのご意見を8割以上頂きました。厚労省のガイドラインに沿って感染症対策を行い、リモート面会、ガラス越しでの面会を適宜行いました。
- ⑤ 昨年度の新型コロナウイルス感染症の施設内感染を教訓に、感染防止マニュアルを再確認し標準予防策を徹底しました。

##### 3 経営基盤の安定

- ① 感染症対策委員会、防災委員会が中心となり、避難用具や避難経路の確認、消火栓、

防災無線の取り扱いについて周知徹底を行いました。

- ② 【特養】年間稼働率は94.7%（前年度91.6%）で、前年度比プラス3.1%と上昇しました。昨年度の苑内感染を教訓とし、コロナ感染対策を図った事で、特養フロアでの感染症の発生防止や、医療機関との連携を密に行い、入院者の長期化を防ぐことが出来ました。コロナ禍においても、多職種と協力・連携し空床利用率、前年度比プラス27.6%、総ベッド稼働率は97.3%（前年度93.4%）でした。【ショートステイ】正規ベッド平均利用率92.7%、特養空きベッド平均利用率58.4%、合計平均利用率123.9%（前年度110.6%）で前年度比プラス13.3%でした。フロア職員に特養の空床利用を積極的に行うことへの意識も定着し、より迅速に協力を得る事が出来、年間新規利用者数39件、緊急ショートは20件受入れることが出来ました。引き続き、近隣居宅介護支援事業所への空室案内や、ケアマネジャーとの信頼関係構築の為、相談業務を強化していきます。
- ③ プリセプター制度による育成を行うことで、新人職員に親切丁寧に指導を行い、無理なく業務内容を習得でき、利用者に質の高いサービスを提供することが出来ました。フロアを越えたヘルプ体制を取り入れる事で欠員時にも効率的な人員配置を取る事が出来ました。
- ④ 合同医務会議、感染症対策委員会を開催し、苑内での集団感染を防ぐことができ、利用者に安心した生活を送って頂き、健全な施設運営へつなげる事が出来ました。
- ⑤ 個人情報保護研修を開催し、個人情報を取り扱う責任の重さを自覚し、日々の行動に気を付けるよう注意喚起する事も出来ました。
- ⑥ 令和3年度介護報酬改定による科学的介護推進加算等、LIFEを活用した情報提供を計画的に行い順次算定する事が出来ました。

#### 4 働きやすい職場作り

- ① 介護主任、ユニットリーダーと連携し、無理のない勤務体系でのシフト作成を行う事で、各職員が有給休暇を取得し、超過勤務の減少を図る事が出来ました。
- ② 前期、後期に個人面談を行い、職員自身の意欲や能力向上に向けて働きかけ、問題や悩みには早期改善に努めました。
- ③ 出産、育児、介護が必要な職員に対して、個人面談を実施、無理なく勤務出来るようにシフト調整し、フロア職員の理解が得られるように努めました。今年度は6人の職員が、出産・育児休暇、時短勤務を利用しました。
- ④ 移乗用リフト、タブレット端末を適切に使用する事で、腰痛の予防、介護中の事故防止、また業務の効率化を図る事が出来ました。
- ⑤ 個人面談の際、資格取得に関する意向の確認を適宜実施し、実習や研修に参加することが出来ました。今年度は、介護福祉士1名、居宅介護支援専門員1名の資格取得に繋がりました。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ① 土支田児童館、八坂中学校と、施設内での交流会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。



- ② 土支田保育園とは、園児が施設玄関先で歌を披露し、利用者は各階ベランダから聴くなど、感染症予防に配慮した交流を行いました。また、園児の歌を録音した CD、励ましのお便りをいただき、利用者に楽しんでいただく事が出来ました。
- ③ 介護福祉士、社会福祉士、職業能力開発センター実習生の受入を行いました。
- ④ 年 2 回の避難訓練を実施しました。また大災害時想定訓練（福祉避難所開設）を行い、地域住民と連携し BCP の確認・更新、避難用具や避難経路の確認、消火栓、防災無線の取り扱い（3 施設合同無線訓練含む）、他機関との連絡方法等について周知徹底を行いました。

【表1】

## 特養稼働表

2022年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,800	1,592	88.4%
5月	1,860	1,659	89.2%
6月	1,800	1,690	93.9%
7月	1,860	1,797	96.6%
8月	1,860	1,855	99.7%
9月	1,800	1,689	93.8%
10月	1,860	1,736	93.3%
11月	1,800	1,713	95.2%
12月	1,860	1,740	93.5%
1月	1,860	1,792	96.3%
2月	1,680	1,631	97.1%
3月	1,860	1,835	98.7%
合計	21,900	20,729	平均 94.7%

(前年度平均91.6%)

【表2】

## 在籍状況及び理由別入退所状況

2022年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所								
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計	
4月	54	0	0	0	4	4	3	1	0	0	0	0	0	0	4
5月	54	0	0	0	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	4
6月	54	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	58	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1
8月	59	1	0	0	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	2
9月	60	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
10月	58	1	2	0	0	3	1	1	0	0	1	0	0	0	3
11月	58	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3
12月	56	1	1	3	0	5	2	1	0	0	0	0	0	0	3
1月	58	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2
2月	58	0	0	3	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1
3月	60	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計	687	3	3	9	16	31	20	4	0	0	1	1	0	0	26

○2021年度の死亡退所者は20名、内15名を苑で看取りました。

【表3】

## 年齢・性別一覧

2022年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	1	0	1
70歳以上75歳未満	0	0	0
75歳以上80歳未満	0	2	2
80歳以上85歳未満	2	11	13
85歳以上90歳未満	2	16	18
90歳以上95歳未満	1	16	17
95歳以上100歳未満	1	3	4
100歳以上	0	1	1
計	7	47	54
平均年齢	85.72 (83.4)	88.31 (88.5)	87.9 (87.8)

○最高齢 103歳・最年少 57歳

( )内は前年度

【表4】

## 要介護度構成

2022年3月31日現在

2021年3月31日現在		2022年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	0	要介護度 2	0
要介護度 3	11	要介護度 3	10
要介護度 4	30	要介護度 4	31
要介護度 5	13	要介護度 5	19
計	54	計	60
平均	4.10	平均	4.20

【表5】

## 在所期間

2022年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	4	5	9
1年以上2年未満	1	10	11
2年以上3年未満	1	5	6
3年以上4年未満	1	3	4
4年以上5年未満	1	4	5
5年以上6年未満	0	3	3
6年以上7年未満	1	2	3
7年以上8年未満	0	1	1
8年以上9年未満	0	3	3
9年以上10年未満	0	0	0
10年以上	0	0	0
計	9	36	54

○平均在所期間は、2年5か月です。

【表6】

＜身辺自立状況＞  
日常生活動作等の状況

2022年3月31日現在

入所者の日常生活動作等の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	20 人 (19人)	15 人 (29人)	一部:歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部:自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	11 人 (10人)	8 人 (11人)	一部:スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部:全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	32 人 (31人)	14 人 (14人)	一部:介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部:常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	33 人 (25人)	11 人 (22人)	一部:手を貸せば、着脱できる。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	35 人 (14人)	16 人 (38人)	一部:身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	38 (35人)		自走:17人(12人)、一部介助:2人(2人)、全介助:19人(21人)
	認知症	41人 (42人)		認知症老人とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が中度以上でその状況が、継続すると認められる者をいう。

※ ( )内は前年度の数字

【表7】

＜事故・ヒヤリハット報告＞

計 596件 (505件)	359件 (311件)	・ヒヤリハット報告(見逃せば事故につながった可能性が強いもの)
	237件 (194件)	・事故報告(行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの)

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	10 (4)
転倒・転落・滑落	34 (34)
外傷	145 (105)
異食	3 (1)
誤嚥	0 (0)
誤薬	5 (10)
その他	37 (40)
計	234 (194)

※ ( )内は前年度の数字

【表8】

<入所者ならびに職員の健康診断状況>

## (ア) 入所者

2022年3月31日現在

		人 数	検 査 内 容
入所者の誕生日検診	実人数	58名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査（体調不良時など	延人数	86名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

## (イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
8 月	63名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 希望者は胃透視
8 月	38名	介護者	腰痛健診（問診含む）
2 月	38名	介護者	腰痛健診（問診含む）
2 月	25名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重

## (ウ) インフルエンザ予防接種

入所者	56名
職 員	82名

## (エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

1回目	利用者	51名
	職 員	9名

2回目	利用者	52名
	職 員	8名

3回目	利用者	56名
	職 員	83名

【表9】

&lt;療養食&gt;

2022年3月31日現在

対象者なし

【表10】

&lt;行事食&gt;

・行事食実施回数 年30回

2022年3月31日現在

月	日	行事名	内容
4	8	花祭り	三色おにぎり、さわらの木の芽焼き、炊き合わせ、ヨーグルト
	26	青森県のメニュー	十和田バラ焼き、切り干し大根たらこ炒め、けの汁
5	5	端午の節句	いなり寿司、筑前煮、ほうれん草の白和え、抹茶ババロア小豆ソースかけ
	10	母の日	たけのご御飯、唐揚げ&卵焼き、山菜の煮浸し、ミルクゼリー（花飾り）
	17	岩手県メニュー	鮭の梅マヨ焼き、芋の子汁
6	14	父の日	鮭ちらし寿司、筑前煮、ほうれん草のお浸し、すまし汁
7	7	七夕	七夕そうめん、冬瓜のくず煮、七夕ゼリー
	28	土用の丑の日	うな井、白菜の甘酢和え、すまし汁
	14	納涼祭	焼きそば、じゃがバター、すいか、ジョア、やわらかたこ焼き
8	13	お盆	みょうがご飯、天ぷら盛り合わせ、モロヘイヤのポン酢和え、小豆ゼリー
	23	夏のリクエストメニュー	とうもろこしご飯、一口お好み焼き、すいか
9	9	敬老会	赤飯（粟）、すまし汁、天ぷら、銀だら西京焼き、松風焼、炊合せ、紅白なます、水菓子
		重陽の節句	ご飯、厚揚げと豚肉の味噌炒め、黒豆煮豆、ほうれん草の菊花和え、乳酸菌飲料
	20	敬老の日	ちらし寿司、すまし汁、炊合せ、抹茶ババロア
	20	秋の彼岸	おはぎ（3種）、すまし汁、ちぐさ焼、きゅうりの塩昆布和え、梨
10	1	十五夜	月見うどん、里芋のきのこあん、杏仁ゼリー
	13	秋の味覚	五目ご飯、さんまの塩焼き、がんもと里芋の煮物、春菊のわさび和え
	31	ハロウィン	サンドイッチ、かぼちゃのくりむシチュー、ブロッコリーのサラダ、チョコババロア
11	10	秋の行楽弁当	いなり寿司（1種）、おにぎり（2種）、鶏のから揚げ、厚焼き卵、ポイルウインナー、香の物、ポテトサラダ、ヨーグルト
	20	山梨県のメニュー	ほうとう風うどん
	24	握り寿司	握り寿司（まぐろ・サーモン・かんぱち）・ねぎとろ軍艦・いくら軍艦・穴子、すまし汁、ほうれん草の煮浸し、みかん
12	22	冬至	ご飯、鶏肉のバター醤油焼き、かぼちゃのいとこ煮、胡瓜のゆかり和え、ジョア
	24	クリスマス	ロールパン&クロワッサン、マカロニグラタン、花野菜サラダ、コーンスープ
	25		チキンライス、エフライ&クリームコロッケ、レタスのサラダ、いちごムース
	31	大晦日	年越しそば（かき揚げ）、ブロッコリーのサラダ、ジョア
1	1	正月祝膳	赤飯、すまし汁、えびの旨煮、スモークサーモン、鶏肉の野菜巻、紅白かまぼこ伊達巻、さつまいもきんとん、紅白なます、炊合せ、黒豆、苺ロールケーキ
			ゆかりごはん、松風焼、茶碗蒸し、雑煮、みかん
	2	正月	初春ちらし、すまし汁、がんもと野菜の煮物、りんごのコンポート
	3		五目ご飯、ぶりの照り焼き、かぶの柚子和え、豚汁
2	7	七草	七草粥、厚焼き卵、カリフラワーのおかか和え、梅干し、味噌汁
	3	節分	恵方巻き、いわしのつみれ汁、ふろふき大根、昆布豆、みかん
3	14	バレンタイン	ハート型ハンバーグ、さつま芋の甘煮、レタスのサラダ、チョコババロア
	3	ひな祭り	ちらし寿司、菜の花の和え物、すまし汁、苺ムース
3	23	春のお彼岸	牡丹餅（3種）、筑前煮、菜の花の辛子和え、すまし汁

その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（週1回）

【表11】

## &lt;家族との連携状況&gt;

2021年度

## (1) 月別の面会状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	3	13	9	5	16	34	34	37	48	29	25	30

※8月～オンライン面会開始

計283人 月平均 23.58人

## (2) 外泊の状況について

○ 外泊者はいませんでした。

## (3) 家族との連絡

○ 家族懇談会 ⇒ 中止

○ 定期的に連絡 ⇒ 月1回(請求書送付時に利用者の状況報告・趣味活動等の予定表を送付)

○ 介護保険に関する連絡 ⇒ 書面、個別対応

○ 利用者の健康状態などについての連絡 ⇒ 随時

○ ケアプラン、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 ⇒ 随時

【表12】

## &lt;実習生の受け入れ状況&gt;

2022年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
東京福祉保育専門学校	介護福祉士取得	2人	29日	14日、15日
城北職業能力開発センター	援助能力向上	2人	6日	
十文字学園女子大学	社会福祉士取得	3人	46日	15日、23日、8日
計		7人	81日	

## &lt;地域との連携(社会資源)及び、ボランティア活動&gt;

2022年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
書道ボランティア	書道教室の手伝い	0人	無
ピアノボランティア	ピアノ伴奏	0人	無
土支田保育園	訪問交流	26人	無
八坂中学校	吹奏楽	0人	無
介護サポーター	趣味活動の手伝い・洗濯物整理等	0人	無
個人ボランティア	車椅子清掃・ユニットの清掃等	0人	無
東京福祉会	葬祭等相談・供養会	0人	無

【表13】

## &lt;クラブ(サークル)参加状況&gt;

2022年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
書道	中止	職員	有	中止
フラワー	中止	ボランティア	有	中止
ピアノ	中止	ボランティア	有	中止
体操	月50人	理学療法士	有	週1回
いきいき美容室	中止	資生堂美容部員	有	中止

【表14】

## 2021年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内容
4	各フロア毎		お花見	リビングで飾りつけをしたり、施設周辺で外気浴を行い、季節感を感じて頂きました。
5	3～5		菖蒲湯	湯船に菖蒲を浮かべ、香りを楽しみながら菖蒲湯を楽しんで頂きました。
6	26	土	フルーツ狩り	室内でフルーツ狩りに見立てたゲームを行い、旬のフルーツを食べて楽しんで頂きました。
7	19	月	花火鑑賞会	プロジェクターで大迫力の花火大会の映像を楽しんで頂きました。
7～8	各フロア毎		スイカ割り	スイカ割りを皆様で楽しんだ後、一緒にスイカを食べて頂きました。
9	21	火	敬老祝賀会	フラワーアレンジメントとお花の練り切りをご用意し、米寿・卒寿・白寿のお祝いをしました。
10	11	月	寸劇「桃太郎」	職員による寸劇「桃太郎」を楽しんで頂きました。
12	各フロア毎		クリスマス会	ハンドベル演奏やクリスマスプレゼント、ケーキをご用意し楽しんで頂きました。
	22～25		(冬至)ゆず湯	湯船に大きな柚子を浮かべ、色や香りを感じて頂きながらゆず湯を楽しんで頂きました。
1	各フロア毎		鏡開き	やわらかもちでおしるこを作り、無病息災を願いました。
	各フロア毎		新年会	各フロアに手作り神社を設置し、おみくじを引いて、新しい1年を元気に健康で過ごせるようお参りをしました。
2	各フロア毎		節分行事	各フロアで、鬼に扮した職員に豆をまき、皆で無病息災を願いました。
3	各フロア毎		桃の節句	リビングを飾りつけ、季節感を味わって頂きました。

通 年	誕生会 誕生日外出	各誕生日	各フロアで誕生日をお祝いしました。
	保育園との 交流会	6/10, 9/16, 12/20	土支田保育園園児と、駐車場とベランダ越しで、歌やお手紙、手作りのプレゼントを交換し、コロナ禍でも交流を継続しました。
	被服販売会	各利用者	感染症予防対策のため個別対応。
	児童館との 交流会		感染症予防対策のため未実施。
	家族交流会		感染症予防対策のため未実施。



【表15】

## ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規利用者数
	枠	利用日数	利用率(%)	利用可能日数	利用数	利用率(%)	
4月	180	166	92.2	208	114	54.8	4
5月	186	158	84.9	201	116	57.7	4
6月	180	154	85.6	110	64	58.2	1
7月	186	176	94.6	63	34	54.0	5
8月	186	174	93.5	5	1	20.0	0
9月	180	164	91.1	111	40	36.0	5
10月	186	169	90.9	124	86	69.4	5
11月	180	179	99.4	87	54	62.1	4
12月	186	173	93.0	120	90	75.0	4
1月	186	180	96.8	68	45	66.2	1
2月	168	151	89.9	49	25	51.0	4
3月	186	186	100.0	24	14	58.3	2
合計	2,190	2,030	92.7	1,170	683	平均 58.4	39名
	(前年度平均 84.9%)			(前年度平均 30.8%)			

【表16】

## ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	0	23	73	48	81	55	283
5月	3	0	12	91	66	67	38	277
6月	3	0	0	61	52	83	19	218
7月	3	0	17	44	31	89	26	210
8月	3	0	20	44	36	55	20	178
9月	3	0	23	48	33	80	17	204
10月	6	0	23	13	57	150	6	255
11月	5	0	52	23	43	106	4	233
12月	5	0	34	59	105	56	4	263
1月	3	0	24	27	84	87	0	225
2月	0	0	25	30	67	39	16	177
3月	5	0	40	32	63	46	19	200
合計	42	0	293	545	685	939	219	2,723
%	1.5%	0.0%	10.8%	20.0%	25.2%	34.5%	8.0%	100%

## 2021年度

### 第3育秀苑認知症対応型通所介護事業 事業報告

#### 2021年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神・法人理念を毎朝のミーティングで唱和、ミッションの確認を行い、利用者に寄り添い一人ひとりの人権を尊重した利用者本位の介護を行うよう努めました。
- ② 他事業所との情報交換は、感染対策を十分に行ない連携に努め実施しました。
- ③ 月間予定や活動内容等をホームページやブログ等で発信致しました。
- ④ 「第3育秀苑デイサービスセンターだより マンスリーレインボー」を作成し、家族、居宅介護支援事業所、地域住民に事業所の活動を発信しました。

##### 2 サービス向上に対する取組

- ① 感染症の影響により WEB や書面での研修が多くなりましたが、職員個々に研修報告を作成し、ケアの向上に努めました。
- ② 新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、利用者・家族が安心して通所できるように努めました。家族の介護負担軽減が図れるようサービスを提供しました。
- ③ 利用者満足度調査の結果は、28名送付17名回収、回収率61%でした。おおむね満足されているという回答が多く寄せられました。
- ④ 送迎時利用者とともに家族の体調確認を毎回行い健康管理に努めました。施設内での感染予防対策として利用者へのマスク着用の声掛けや、パーテーション設置、レクリエーション時の物品消毒を行いました。また、定期的な車両点検を行い安心安全な運行に努めました。

##### 3 経営基盤の安定

- ① 2021年11月に利用者と一緒に避難訓練を行いました。緊急時利用者名簿を更新し、災害発生時に迅速に行動出来るよう整えました。
- ② 1日の平均登録者18名、平均実利用者15名を目指しましたが、それぞれ平均登録者12名、平均実利用者10名に留まりました。原因として、新型コロナウイルス感染症による営業活動の難しさ、コロナ禍による利用控え、ショートステイの利用延長、利用者の機能低下による入院入所等によることがあげられます。
- ③ 2021年4月より科学的介護推進体制加算を算定しました。また、現在サービス提供体制加算(Ⅱ)を算定しておりますが、2021年7月以降は介護福祉士割合70%以上を維持できており、2022年7月にはサービス提供体制加算(Ⅰ)を算定予定です。
- ④ 感染拡大時には、各種委員会を書面で行い感染リスクの対策を図りました。
- ⑤ ファックス送信は、氏名等の個人情報にマスキングを行った上で、複数職員にて確認しました。

#### 4 働きやすい職場作り

- ① 朝夕の申し送り、ミーティングや職員間のコミュニケーションを良好に取り合い円滑な職場作りを心掛けました。
- ② 人員配置の適正化を図り、有給休暇の取得しやすい環境をつくり希望に沿った休暇取得を推進しました。
- ③ 資格取得の情報提供やアドバイスを行い、認知症介護実践者研修、認知症対応型サービス管理者研修、介護職員実務者研修の修了に繋がりました。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ① 感染症予防のための「介護学べるサロン」は、定員を定め12月と3月に開催しました。運営推進会議は、9月と3月に書面により行いました。旭町第2保育園との交流会は、第3育秀苑建物外でプレゼント交換等を行い、2回交流することが出来ました。
- ② 新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に行い、実習生を受け入れ、福祉人材の育成に努めました。
- ③ 福祉避難所としての地域防災活動は、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となりました。

2021年度新規及び平均利用者数【表1】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308
延べ利用者数(名)	256	254	253	263	259	260	249	256	242	247	225	273	3,037
平均利用者数(名)	10.3	10.3	9.9	10.0	10.1	10.0	9.6	9.8	10.3	10.3	9.4	10.1	10.0
新規利用者数(名)	1	1	1	3	0	1	0	1	2	2	0	0	12
SPOT利用者数(名)	0	0	0	0	0	0	1	1	6	0	1	1	10
稼働率(%)	43.1	42.8	41.2	41.7	42.1	41.7	39.9	41.0	42.9	42.9	39.1	42.1	41.1

時間帯別延べ利用者数【表2】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	時間帯別比率
3時間-4時間	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	5	0.16%
4時間-5時間	0	0	1	1	3	1	1	0	0	0	4	0	11	0.36%
5時間-6時間	69	71	67	71	65	63	69	72	74	77	59	86	843	27.8%
6時間-7時間	112	113	113	117	109	112	100	107	96	104	99	119	1,301	42.8%
7時間-8時間	75	70	72	74	81	84	79	76	71	66	62	69	879	28.9%
8時間-9時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
9時間-10時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
延べ利用者数	256	254	253	263	259	260	249	256	242	247	225	273	3,037	100%

介護度別利用者数【表3】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	介護度別比率
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要介護1	5	4	4	5	5	4	4	4	3	4	4	4	50	14.3%
要介護2	10	9	8	9	9	10	9	9	8	9	6	7	103	29.3%
要介護3	9	8	8	9	9	8	8	8	8	9	10	10	104	29.6%
要介護4	3	5	4	4	4	4	6	6	7	7	7	4	61	17.4%
要介護5	2	3	3	3	2	2	2	3	3	2	3	5	33	9.4%
合計	29	29	27	30	29	28	29	30	29	31	30	30	351	100%

利用者 年齢構成【表4】

年齢	男性(名)	女性(名)	合計(名)	利用者年齢構成比率
90歳以上	1	8	9	28.1%
85歳以上89歳以下	2	8	10	31.3%
80歳以上84歳以下	0	4	4	12.5%
75歳以上79歳以下	4	4	8	25.0%
70歳以上74歳以下	0	1	1	3.1%
66歳以上69歳以下	0	0	0	0%
64歳以下	0	0	0	0%
合計	7	25	32	100%

## 2021年度

### 第3育秀苑訪問介護事業 事業報告

#### 2021年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神・法人理念を基に、コロナ禍において感染予防策を徹底し、住み慣れた我が家で安心して住み続けるための支援に努めました。
- ② 合同サービス提供責任者会議を年2回開催し、情報交換を行い施設間の共通認識を深めました。
- ③ 第3育秀苑ミッション「together 共に笑い 共に寄り添い 共に歩む」を念頭にしたサービスを提供できるように周知し、利用者から笑顔が見られる介護に努めました。
- ④ ホームページのブログを活用し、ヘルパーの活動を掲載しました。

##### 2 サービス向上に対する取り組み

- ① 第3育秀苑デイサービス主催の認知症ケアに関する研修に参加し、認知症の方への対応力向上を図りました。
- ② できる事を維持できるよう支援し、自立支援・重度化防止に取り組みました。
- ③ 虐待ケースの案件は、ケアマネジャーや地域包括支援センターと密に連携し悪化を防ぐ事ができました。
- ④ オンラインでの施設内研修や外部研修にサービス提供責任者が参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響でヘルパー研修を開催する事ができず、書面にて周知しました。
- ⑤ 利用者アンケート調査を実施し、利用者満足度90%以上達成しました。

##### 3 経営基盤の安定

- ① 厚生労働省や東京都の感染症対策動画を視聴し、感染予防対策の向上に努めました。
- ② 月平均5件の新規利用者の増加に努めましたが、月平均2件の結果に終わりました。
- ③ 練馬区が開催している合同就職相談会に参加し、登録ヘルパー2名の採用に繋がりました。求人チラシの配布や掲示板への掲示をしましたが成果には繋がりませんでした。
- ④ 個人情報保護の施設内研修に参加し、個人情報保護の意識向上を図りました。

##### 4 働きやすい職場作り

- ① 計画的に有給休暇を取得するようヘルパーに働きかけ、有給休暇取得の推進に努めました。

- ② 個人目標シートを活用し個々の目標を立て、サービスの質の向上に取り組みました。
- ③ ヘルパーの稼働時間や日数など希望に添えるよう相談や調整に努め、ワークライフバランスの維持に努めました。
- ④ 法人でスマートフォンやタブレットを活用した給与明細配信システムの導入についてヘルパーに周知しました。
- ⑤ 今年度の資格取得者はいませんでした。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ① コロナ禍で地区祭などのイベント中止が相次ぎ、参加できませんでした。
- ② 練馬区介護予防・日常生活支援サービス従事者研修の修了者を受け入れ、地域における支え合い体制づくりに貢献しました。
- ③ 施設で行う防災訓練に参加し、施設災害時の対応に備えました。

【表1】

## 登録者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣数	92	90	89	87	89	91	92	93	90	89	86	85	1,073 (1,100)	89 (92)
新規契約	2	0	1	2	5	4	4	2	1	3	1	2	27 (29)	2 (2)
入院	2	3	2	3	3	4	2	0	4	1	1	0	25 (22)	2 (2)
廃止	0	1	3	0	3	4	4	4	6	0	0	1	26 (19)	2 (2)
派遣時間	722.3	674.3	676.9	672.6	689.0	680.9	670.7	747.3	728.0	649.8	654.3	708.8	8,274.7 (8,210.9)	690 (684)

( )内は昨年度

【表2】

## サービス種別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	昨年度
生活援助	37.8%	36.1%	37.6%	40.7%	38.6%	40.0%	41.7%	41.0%	41.7%	41.7%	36.6%	36.7%	39.2%	37.7%
身体介護	16.3%	18.8%	17.6%	21.2%	21.3%	22.1%	22.0%	22.3%	22.0%	22.0%	23.0%	23.9%	21.0%	14.0%
身体生活	25.7%	25.5%	23.9%	20.1%	20.5%	16.5%	19.4%	21.5%	19.4%	19.4%	23.7%	21.0%	21.4%	24.5%
総合事業	20.2%	19.5%	20.8%	18.1%	19.6%	21.4%	17.0%	15.3%	17.0%	17.0%	16.7%	18.5%	18.4%	23.9%

【表3】

## 介護度分布

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
事業対象者	5	5	5	5	6	5	5	5	4	5	5	5	60	63
要支援1	13	12	13	12	11	10	16	11	9	7	9	10	133	170
要支援2	15	15	14	15	14	17	10	18	17	18	16	14	183	211
要介護1	19	19	20	20	21	22	22	22	23	20	19	19	246	234
要介護2	25	25	24	23	23	20	21	18	18	19	18	19	253	284
要介護3	6	5	5	6	6	9	8	10	9	9	9	9	91	57
要介護4	5	5	4	2	3	4	6	5	4	6	5	4	53	59
要介護5	4	4	4	4	5	4	4	4	5	5	5	5	53	26
自費サービス	7	8	7	8	5	9	5	6	4	2	5	5	71	95
合計	99	98	96	95	94	100	97	99	93	91	91	90	1,143	1,199

## 2021年度

### 第3 育秀苑居宅介護支援事業 事業報告

#### 2021年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本方針・法人理念を基に、職員一人ひとりが利用者およびその家族の意向に寄り添い、自己決定支援を行いサービスの選択など、ニーズに沿ったケアマネジメントを提供しました。
- ② オンライン等を活用した法人内の会議、勉強会を年3回行いました。
- ③ 職員一人ひとりが利用者に寄り添ったケアマネジメントをすすめ、ミッション遂行しました。

##### 2 サービス向上に対する取り組み

- ① 認知症や医療ニーズの高いケースに対応できるように事例検討、研修、勉強会での学びを活かしたケアマネジメントを提供しました。
- ② 利用者の状況を総合的にアセスメントし、短期・長期的な見立てから提案を行い、自己の選択に基づく意思決定の支援に努めました。
- ③ オンライン開催を含めた15の外部研修等に参加し、専門的知識の向上、地域事業所および多職種連携の強化に努めました。
- ④ 「お客様満足度調査」を実施し、概ね満足しているとの回答を頂きました。

##### 3 経営基盤の安定

- ① BCPについて研修で学び、計画の作成を進めています。
- ② 特定事業所として地域包括支援センターや近隣の居宅介護支援事業所との連携から、新規ケースを平均月4件受け入れました。特定事業所加算に係る基準を遵守し、運営を継続することができました。年間件数1,101件と、昨年度より173件（月平均14.4件）増えました。
- ③ 地域サービス事業所の感染状況の確認と発生時の対応について随時連携し、感染拡大防止に努めました。
- ④ 個人情報持ち出し時の管理方法の見直し、施錠管理など徹底しました。

##### 4 働きやすい職場作り

- ① 朝礼、定例会議にてケース共有を行い、担当者不在でも事業所として対応できる体制を継続しています。
- ② 外部研修の情報収集をして、各々の質の向上、自己研鑽に努めました。
- ③ 各々が課題に持つスキルや知識を向上できるよう、研修や勉強会の参加を積極的に進めました。



5 地域貢献への取り組み

- ① 地域ケアセンター会議、圏域内の多職種や他法人との勉強会など、参加を通して地域特性や課題の把握に努め、連携を深めています。
- ② 介護支援専門員実務者研修生の受け入れはありませんでした。保険者が行うケアプラン点検の協力者を2回実施しました。
- ③ 感染拡大防止の観点から、「災害時要援護者の支援に関する会議」は開催ありませんでした。

要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	4	5	5	6	5	6	9	9	7	7	8	8	79 (54)
要介護1	25	26	31	34	35	31	28	26	28	30	30	29	353
要介護2	32	33	31	31	29	33	36	35	32	30	32	33	387
要介護3	11	14	12	11	11	14	14	13	15	18	16	17	166
要介護4	11	10	7	10	12	11	10	11	12	9	10	11	124
要介護5	5	4	3	5	8	7	6	6	8	6	6	7	71
介護合計	84	87	84	91	95	96	94	91	95	93	94	97	1,101 (928)

※ ( )内は前年度の数字

2 0 2 1 年 度  
事 業 報 告

練 馬 区 委 託 事 業

# 2021年度

## 練馬区委託事業地域包括支援センター事業報告

### (桜台・第2育秀苑・第3育秀苑)

#### 1. 事業運営の基本方針

地域住民の心身の健康保持、及び生活の安定のために必要な援助を行い、高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活を継続できるよう包括的に支援することを目的として業務を行っています。新型コロナウイルス発生から2年以上経過した現在も終息には至っておらず感染症予防対策に取り組みながら、地域の高齢者やその家族、それらを取り巻く関係機関の総合相談窓口として活動してきました。その結果を報告します。

第3育秀苑においては、令和3年4月より担当地域割変更に伴う引き継ぎがありました。担当地域は以下の通りです。

【表1】担当地域

担当地域	
桜台	桜台
第2育秀苑	旭丘・小竹町・羽沢・栄町
第3育秀苑	土支田・高松6丁目

#### 2. 主たる事業内容

##### 1) 総合相談業務

##### ①総合相談業務

地域の身近な相談窓口としての機能を果たすために、町会や民生委員、医療機関やサービス事業所への周知活動を行いました。また、介護に関する相談だけでなく、保健医療や福祉、生活に関することなど多様なニーズや相談を総合的に受け止め、必要な情報提供、多様な社会資源を有機的に結び付ける包括的な支援を行ってきました。

【表2】相談内容 総合相談件数実績 (単位：件)

相談内容別件数									
	施設	在宅福祉サービス	経済的事項	家庭的事項	住宅	介護保険	介護予防	その他	合計
桜台	142	376	46	110	110	1,583	3,590	580	6,537
第2育秀苑	89	513	259	429	26	963	3,196	703	6,178
第3育秀苑	191	87	85	104	40	868	2,935	1,516	5,826

【表3】相談手段別 総合相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	2,025	485	4,023	4	6,537
第2育秀苑	1,445	311	4,407	15	6,178
第3育秀苑	1,191	241	4,371	15	5,826

②地域におけるネットワーク構築

【表4】ネットワーク構築の為の活動

活動内容	
桜台	民生・児童委員との連絡会に出席(1回/月) (令和3年度はコロナ感染予防の為、書面開催) 地域別民生委員との情報交換会(3回/年) 豊玉・練馬地区地域密着型連携支援事業における情報交換会への参加 (6回/年) 練馬区地域生活支援サービスの充実に関する協議体(つなぐ会)への参加 (2回/年)
第2育秀苑	民生児童委員との連絡会に出席(1回/月) (令和3年度はコロナ感染予防の為、書面開催) 地区別民生委員との連絡会(1回/年)※コロナ感染予防の為に書面開催 豊玉・練馬地区地域密着連携支援事業における情報交換会への参加 (6回/年) 練馬区地域生活支援サービスの充実に関する協議体(つなぐ会)への参加 (2回/年) 悪質商法高齢者被害防止ネットワーク連絡会議への出席(1回/年)
第3育秀苑	民生委員との情報共有(各活動地域ごと年1回)※コロナのため開催できず 光が丘圏域内の介護支援専門員支援のためのZOOM研修(年4回)※7包括合同

③安否確認

【表5】通報・安否確認件数実績

通報者	介護事業者、金融機関、 医療機関等	地域住民、自治会、 コンビニ等	安否確認 合計
桜台	7	8	15
第2育秀苑	2	4	6
第3育秀苑	2	0	2

## 2) 権利擁護事業

### ①高齢者虐待への対応

地域住民や民生委員、介護支援専門員だけでは解決できない困難事例や高齢者虐待、消費者被害の早期発見および地域住民からの相談の対応を行いました。区が開催するコア会議に出席し、虐待の有無の判定及び支援方針の決定と対応を行いました。

### ②成年後見制度の利用支援

成年後見制度、地域福祉権利擁護事業など、適切な制度が活用できるよう練馬区および社会福祉協議会と連携し、援助を行いました。

年6回、成年後見支援検討会議へ参加し、多職種と共に事例検討を行い、より良い支援に繋がる様に活動して参りました。

### ③消費者被害の防止

地域住民対象の勉強会、消費生活支援センターへの相談、助言を受けるなど被害防止の取り組みと、関係機関への周知活動・継続的な見守りを行いました。

【表6】権利擁護実績（単位：件）

権利擁護支援対応件数					
項目	虐待	成年後見	消費者被害	その他	合計
桜台	18	65	7	1	91
第2育秀苑	136	152	0	17	305
第3育秀苑	408	201	0	55	673

## 3) 包括的・総合的ケアマネジメント事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう支援をするために、主治医や関係機関、介護支援専門員等との連携に努めた他、病院から在宅へ、サービスが途切れることなく利用できるよう、病院・薬局等の医療機関や介護支援専門員、サービス事業者等との調整を行いました。また、常に情報収集を行い、地域の介護支援専門員や民生委員との関係作りに努めました。

介護支援専門員については、個々の高齢者の状況に応じ、適切かつ継続的なサービスが提供される調整を担えるよう、介護支援専門員の資質の向上となることを意識した支援を行いました。また、困難事例については居宅介護支援事業所と緊密な連携を図り、より適切にかつ迅速な対応を目指し、介護支援専門員の後方支援を行いました。

【表7】包括的・継続的ケアマネジメント支援実績（単位：件）

包括的・継続的ケアマネジメント支援実績件数						
	連絡会の開催	プラン指導	サービス担当者会議開催支援	個別指導相談対応	その他	合計
桜台	2	1	14	114	3	132
第2育秀苑	0	36	6	107	3	152
第3育秀苑	1	16	13	192	165	387

#### 4) 在宅医療介護連携の推進

医療・介護推進員を1名配置し医療と介護の相談窓口を設置しました。

地域の有床病院の医療相談員との連携、地域の病院や医院とつながりを築き、高齢者が必要とする医療が受けられるよう、寄り添いながら支援を行いました。

【表8】医療・在宅療養相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	22	11	150	4	187
第2育秀苑	15	9	112	2	138
第3育秀苑	94	18	408	2	522

【表9】医療・在宅療養相談内容 総合相談件数内訳（単位：件）

相談者				相談内容				相談内容の連絡先			
項目	桜台	第2	第3	項目	桜台	第2	第3	項目	桜台	第2	第3
本人・家族	41	46	235	受診に関する相談	28	28	131	解決	47	43	141
ケアマネジャー	9	6	22	入院に関する相談	36	10	63	新規紹介	26	10	52
病院	127	58	179	退院に関する相談	57	38	80	かかりつけ医	10	8	57
診療所	12	9	39	退院カンファレンスの参加	28	8	29	ケアマネジャー	19	34	42
介護サービス事業者	1	8	7	介護サービス等の相談	24	36	95	介護サービス	49	10	19
その他	3	11	38	その他	20	18	122	その他	40	33	208

#### 5) 認知症施策の総合相談

認知症地域支援推進員を1名配置し、相談窓口を設置しました。

認知症地域支援チーム員会議に出席、認知症に関する講座を開催しました。

認知症になっても在宅で暮らし続けたい声に添い、地域づくりの取り組みを継続しています。

新たに本人ミーティング、チームオレンジ、もの忘れ健診などの施策へも取り組みました。

【表 10】 認知症施策相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
項目	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	23	6	65	1	95
第2 育秀苑	19	10	62	1	92
第3 育秀苑	22	13	83	0	118

【表 11】 認知症施策相談内容 総合相談件数内訳（単位：件）

	項目	桜台	第2 育秀苑	第3 育秀苑
相談者	本人・家族	47	52	81
	ケアマネジャー	5	11	8
	病院	25	14	13
	介護サービス事業者	7	1	2
	その他	10	14	14
相談内容	医療に関する相談	3	10	21
	入院に関する相談	9	7	12
	認知症症状および対応に関する相談	60	31	49
	生活機能障害	5	12	6
	生活支援・介護サービス等の相談	10	13	14
	権利擁護に関する相談	3	4	7
	その他	4	15	9
相談内容の連絡先	継続支援	35	55	62
	認知症専門相談の利用	13	0	9
	認知症専門病院	16	19	22
	かかりつけ医	7	5	7
	医療機関の新規案内	1	0	1
	ケアマネジャー	2	5	6
	介護保険サービス	9	4	1
	区福祉サービス	4	0	1
	権利擁護事業	0	1	4
	その他	5	3	5

## 6) 地域ケア会議

## ①地域ケア会議

ア) 地域ケア個別会議では、個別のケース検討を通じ、高齢者の課題解決を支援するとともに、課題解決に向けた社会資源の把握やネットワーク構築を目的に概ね月1回感染対策を行い開催しました。

- イ) 地域ケア予防会議では、ケアマネジメントおよび専門職の資質向上を目的に、年 2 回練馬区で開催され、介護予防・生活支援サービスまたは訪問介護多回数のケースについて、自立支援・重度化防止およびより楽しみのある暮らしに向けて検討を行いました。今年度はコロナ感染予防のため緊急事態宣言により中止または、書面開催となりました。
- ウ) 地域ケアセンター会議では、個別会議と予防会議を通じて抽出された地域課題について、地域の関係者で話し合いをしました。コロナ禍の開催のため書面開催または、人数制限等、感染予防対策を徹底して開催しました。

【表 12】地域ケアセンター会議（単位：件）

項目	
桜台	「井戸端会議ができる場所を作ろう！」 ～通いの場・居場所作りに関するアンケートから見えてくること～ (書面開催) 桜台に「居場所」を作ろう！(書面開催)
第 2 育秀苑	「あたらしい生活様式の中での現状と課題～1 年を振り返って～」 「これからの防災活動」
第 3 育秀苑	「町会・民生児童委員の皆様へ 地域のこと教えて下さい」(書面開催) 「地域包括支援センターと地域の居宅介護支援事業所との介護予防と地域づくりについて考える」

## 7) 介護予防ケアマネジメント業務

### ①介護予防サービスの利用支援

要支援・要介護認定を受けていない区内在住の 65 歳以上で、区から送付された基本チェックリストにおいて介護予防事業への参加が必要と判断された方に対し、区が指定する事業（運動機能向上、栄養改善や口腔機能向上、いきがいデイサービス等）へのコロナ禍の社会情勢に合わせて参加支援を行いました。

### ②介護予防ケアマネジメント

介護予防・生活支援サービス事業では、介護予防・日常生活総合支援事業に該当する利用者および要支援 1・2 の認定を受けている利用者の心身の状況や置かれている環境を把握、生活課題を整理し、介護予防サービス計画を作成しました。緊急事態宣言中は、利用者・家族の意向を確認して、生活目標の達成に向けた支援・ケアマネジメントを行いました。



【表 13】 介護予防ケアマネジメント件数実績（単位：件）

介護予防ケアマネジメント件数					
	作成者別		サービス別		合計
	センター作成分	居宅委託分	予防給付	総合事業	
桜台	1,338	220	647	911	1,558
第2 育秀苑	1,338	944	1,016	1,266	2,282
第3 育秀苑	786	507	604	689	1,293

8) 生活支援体制整備

生活支援サービスの充実に関する協議会に年2回、地域密着型連携支援事業における情報交換会に年2回参加し、地域活動支援をしている団体や事業所との連携体制を深めました。（桜台・第2 育秀苑）

9) ひとり暮らし高齢者等訪問支援

【表 14】 ひとり暮らし高齢者等訪問支援人数実績（単位：人）

ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業対象の人数			総数
桜台	75歳以上	226	362
	65歳以上 75歳未満	136	
第2 育秀苑	75歳以上	196	224
	65歳以上 75歳未満	28	
第3 育秀苑	75歳以上	156	161
	65歳以上 75歳未満	5	

【表 15】 訪問支援協力員の活動件数実績（単位：人）

		登録数	実施数	総数
桜台	訪問支援対象者	17	341	647
	協力員	13		
	センター職員対応	17	306	
第2 育秀苑	訪問支援対象者	6	85	223
	協力員	2		
	センター職員対応	3	138	
第3 育秀苑	訪問支援対象者	2	15	68
	協力員	2		
	センター職員対応	2	53	

10) 街かどケアカフェ

地域の高齢者の介護予防や交流、相談援助を目的とした集いの場や出張相談を開催しました。緊急事態宣言発出にて区からの指示に従い開催を見合わせたため、計画通りの開催には至りませんでした。

【表 16】 街かどケアカフェ実績

常設型街かどケアカフェ（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
街かどケアカフェさくら	90	427
出張型街かどケアカフェ（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
桜台地域集会所	37	526
桜台地区区民館	8	105
カルーチェ	10	41
合計	55	672

出張型街かどケアカフェ（第2育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
たむら薬局（中止）	0	0
栄町敬老館	5	48
鶴の里ホール	11	113
旭丘地域集会所	4	26
小竹地域集会所	5	44
サエラ薬局	1	2
合計	26	233

出張型街かどケアカフェ（第3育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
土支田地域集会所	9	94
土支田中央地域集会所	11	188
ウエルシア薬局	1	12
合計	21	294

1 1) 福祉用具貸出事業

病気やけがなどにより福祉用具が一時的に必要な方、購入前に試用してみたい方を対象として、1週間程度の貸出を行いました。使用に関する相談や、用具の点検、修理も随時行いました。

【表 17】 福祉用具貸与件数実績

	福祉用具貸与事業実績				
	車いす	シルバーカー	シャワーチェア	浴槽いす	その他
桜台	128	7	4	0	14
第2育秀苑	60	4	1	0	1
第3育秀苑	13	5	7	1	8

## 12) はつらつシニアクラブ

緊急事態宣言発出により前半の開催が中止となりました。後半は感染予防対策を徹底し予定通り実施され、健康増進や介護予防に関する助言や活動勧奨を行いました。

## 13) その他

練馬区から依頼を受け、認定調査・ケアプラン点検を実施しました。  
練馬区が開催する会議への参加、各高齢者施策担当係と連携し事業運営の協力をしました。

## 3. 職員配置

【表 18】職員配置人数

	桜台	第2育秀苑	第3育秀苑
法定三職種 主任介護支援専門員・社会福祉士・ 保健師（看護師）	3名	3名	3名
介護予防ケアマネジメント担当	2名	2名	2名
訪問支援員	2名	2名	2名
常設型カフェ職員	1名	—	—
事務員	0.5名	0.5名	0.5名
合計	8.5名	7.5名	7.5名

## 4. 定例会議

3カ所の地域包括支援センターの知識や技術の向上と平準化を目的とし、専門職会議を開催しました。

【表 19】会議開催回数

地域包括支援センター会議	2回（7月、2月）
リーダー会議（主任介護支援専門員）	6回（4月、6月、8月、11月、2月、 3月）
保健師会議	4回（5月、7月、11月、3月）
社会福祉士会議	3回（4月、10月、3月）
訪問支援員会議	3回（8月、11月、2月）
介護予防ケアマネジメント担当会議	4回（5月、8月、12月、3月）

## 5. 参加する研修会等

感染症拡大により中止になった研修もありましたが、後半はオンライン開催となりコロナ関係の研修にも積極的に参加しました。

【表 20】 研修参加状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
桜台	東京都	0	0	1	0	0	0	3	1	1	0	0	0	6
	練馬区	0	0	0	3	0	2	1	4	3	3	5	0	21
	その他	4	1	3	1	3	1	4	7	3	0	2	0	29
第2	東京都	0	0	2	1	0	2	1	2	2	2	0	0	12
	練馬区	0	1	4	3	2	0	0	2	1	2	8	1	24
	その他	0	0	0	0	3	1	0	1	1	0	0	1	7
第3	東京都	0	0	0	2	1	1	1	0	2	0	0	4	11
	練馬区	0	0	2	1	2	2	1	1	2	4	4	1	20
	その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2

【表 21】 研修参加一覧

桜台	第2 育秀苑	第3 育秀苑
認知症 VR プログラム(プレ調査)	東京都認定調査員新規研修	地域づくりによる介護予防研修 (通いの場づくり)
令和3年度東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	令和3年度地域包括支援センター職員初任者研修(2回)	介護予防フレイル予防推進委員研修
高齢者の精神疾患の理解と支援	若年性認知症相談支援研修	養護者における高齢者虐待の防止と対応
支援者自身がバーンアウトにならない支援を考える	認知症地域支援推進員新任研修(2回)	処置が必要な人への理解を深める
情報セキュリティ研修	ひきこもり概論	今井塾！低所得者施策
呼吸器疾患のいろいろ	自殺を防ぐための支援について	認知症地域支援推進員研修 ZOOM
何ができるの？呼吸器リハの基本と実践	高齢期の精神疾患の理解を支援	今井塾！年金制度のしくみと高齢者の所得保障
フレイル～今からできるフレイル対策～	キャラバンメイト養成研修	不適切な自己決定をする高齢者の支援研修
高血圧を知ろう。血圧測定から減塩まで けあまねりま研修	マインドフルネス アウトリーチ支援研修	ファシリテーションスキルの基礎 繋げてみよう ZOOM の使い方
高齢者の睡眠障害について	アセスメントの理解について	認知症初期集中支援チーム員研修
精神障害の理解と支援方法について～うつと統合失調症を中心に～	非常災害時の対応	地域ケア会議アドバイザー養成研修
地域ケア予防会議検討会	介護・福祉職が知っておきたい薬の知識	DASC 研修
精神疾患を持つ方への訪問看護	今井塾！年金制度のしくみと高齢者の所得保障	キャラバンメイト養成研修
事例検討会 高齢者虐待対応を具体的な事例を通して考えてみませんか	本人ミーティング・チームオレンジ研修	令和3年度 介護者支援研修～ヤングケアラーの理解～
障害サービスの基本	在宅療養に関する事例検討会	ACP 研修
令和3年度東京都地域包括支援センター職員研修(現任者研修)	処置が必要な人への理解を深める	BCP 研修
LIFE(科学的介護情報システム)の活用方法の 実際～効果的な活かし方と今後の課題	今井塾！養護者による高齢者虐待の防止と対応	今井塾！生活保護制度
コロナで困ったあれこれ～コロナ対応で見えてきた在宅療養における大切なこと～	今井塾！医療保険制度のしくみと後期高齢者医療制度	高齢者の食事と栄養の基礎知識

地域で暮らす統合失調症の方の伴走者になるために必要なこと	業務ミスに学ぶ！ヒューマンエラー事故の防止方法とは	今井塾！養護者による高齢者虐待の防止と対応
令和3年度第10回豊島病院 認定看護師地域連携セミナー コロナ禍における高齢・認知症患者の看護～安心して療養できる環境作りと対応～	今井塾！介護保険制度における介護支援専門員の役割	パーソナリティ障害 理解と支援
患者・家族とのコミュニケーション、病状理解	学ぼう！若年性認知症の人への支援について	大人の発達障害の支援のあり方を学ぶ
介護事故に対するリスクマネジメント	精神障害の理解と支援方法	福祉保健関係機関合同研修会
生活習慣病セミナー 糖尿病・高血圧を正しく知ろう	感染症対策リーダー研修（3回）	認定調査員研修
令和3年度レベル別研修 3-①	今井塾！生活保護制度	介護福祉職が知っておきたい薬の知識
令和3年度レベル別研修 2-1	今井塾！低所得者施策	本人ミーティング・チームオレンジ活動の実務研修
令和3年度レベル別研修 2-2①	読むだけでは伝わらない介護サービス事業者で利用する契約書の説明の仕方	処置が必要な人の理解を深めるために
令和3年度レベル別研修 2-2②	社会福祉士実習担当者連絡会	区市町村介護予防事業担当者研修
N-impro リーダー養成講座	キャラバンメイト連絡会	
認知症事例検討会（練馬・石神井圏域）	ケアマネジャーのリスクマネジメント	
令和3年度 介護者支援研修～ヤングケアラーの理解～	社会福祉士実習指導者研修	
キャラバン・メイト連絡会	リスクマネジメントセミナー	
わが家で生きる～最後のその時まで自分らしく過ごす為にケアチームができること～	認知症の方の意思を尊重するために	
令和3年度事例検討会（4回）	ケアマネジメントに必要な相談援助技術	
令和3年度福祉保健関係機関合同研修会（2回）	圏域地域カンファレンス	
けあまねりま研修～感染まん延防止対策 みんなで考えよう！BCPについて～	地域包括支援センター職員担当セミナー	
公開講座 職場におけるハラスメント	福祉保健関係機関合同研修会	
障害サービスの基本～障害者総合支援法を知る～		
令和3年度東京都関係機関向け専門研修「ひきこもり概論」カリキュラム		
令和3年度 在宅療養に関する事例検討会		

## 6. 2021年度の重点課題

### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 地域住民の相談窓口として、迅速かつ丁寧な対応を行い、地域に根差した地域包括支援センターとなるよう、新型コロナウイルス感染予防対策をしながら町会や民生委員と連携を図りました。
- ② 新型コロナウイルス感染予防の為、センター会議および各職種会議はオンラインで開催しました。
- ③ 新型コロナウイルスの感染状況もあり、ケアカフェのスケジュールや活動の様子等をホームページより発信しました。
- ④ 地域活動に関して計画はしましたが、新型コロナウイルス感染症が終息しないため、行えませんでした。
- ⑤ 地域共生社会の実現に向け、障害や児童の相談も各関係機関と共同し、業務を遂行しました。

## 2 サービス向上に対する取り組み

- ① 相談に対してセンター内で権利擁護の視点を共有し、各専門職の意見を取り入れ支援を行いました。
- ② 法人の研修、東京都や練馬区等で専門職研修を活用して、個々の相談援助力の向上を図りました。(表 21、表 22 参照)
- ③ 各職員が専門性を強めて、利用者に還元できる力を培いました。(表 22、表 21 参照)
- ④ 練馬区が実施する地域ケア予防会議に協力いたしました。
- ⑤ 地域包括支援センターが主体となりコンプライアンス研修を開催いたしました。

## 3 経営基盤の安定

- ① 発災時の業務継続に向けて、BCP の作成を始めました。
- ② 新型コロナウイルス等の感染予防に取り組みながら、地域の避難拠点連絡会や避難訓練に参加し、地域包括支援センターの役割の周知を図りました。
- ③ 個人情報持ち出し管理簿などを用いて、情報のセキュリティ管理に取り組みました。

## 4 働きやすい職場作り

- ① 事業ごとの担当者同士が業務内容や進捗状況を確認しあい、チームの一員とし協働しました。
- ② 職員ごとの目標に沿った研修計画を立てスキルアップを目指しました。(表 20、表 21 参照) また、ワークライフバランスの充実を目指し有休の取得促進に努めました。

## 5 地域貢献への取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症の為、地域のボランティア、元気な高齢者が活躍できる場所や機会の提供は行えませんでした。
- ② 新型コロナウイルス感染状況を見ながら、地域ケア個別会議から見えてくる課題を書面開催にて地域ケアセンター会議を実施しました。
- ③ 感染状況を見ながら、街かどケアカフェ事業を開催しました。
- ④ 健康や介護予防講座、認知症サポーター養成講座、N-impro などの自主開催や講演の要請に応じ、開かれたセンターを目指します。
- ⑤ 地域の避難訓練に参加していきます。地域の小・中学校の介護体験授業を通して、福祉教育に協力します。
- ⑥ 福祉避難所の開設に向けた訓練に協力します。

※③、④、⑤は、新型コロナウイルス感染状況から開催いたしませんでした。

# 2021年度 練馬区委託事業報告

## 高齢者世帯訪問支援業務

### 1. 事業運営の基本方針

65歳以上の者のみで構成される生活保護を受給している世帯に対し、居宅を訪問し生活状況の把握、日常生活における課題に対して助言を行うなどの支援また社会とのつながりが持てるようにその世帯が地域の中で孤立せず安心して暮らせるように支援を行いました。また、身体の衰えなどの理由により日常生活で介護などのサポートが必要となった方に対し、地域包括支援センター職員と連携し、介護保険制度の利用に繋げるなどの支援を行いました。その結果を報告します。

### 2. 主たる事業内容

#### (1) 定期訪問支援業務（4か月に1回実施）

	担当地域	担当世帯数
桜台	桜台1～6丁目・練馬2丁目	264
第2育秀苑	栄町、旭丘1丁目・2丁目、羽沢1丁目～3丁目、小竹町1丁目・2丁目、豊玉上1丁目・2丁目・豊玉北1丁目・2丁目	265

今年度も緊急事態宣言の中で、感染拡大に考慮しながら個別訪問を行ってまいりました。

#### ① 人と社会の繋がりが保てるように働きかけを行う支援

	達成人数	継続支援（手段）
桜台	8人	4人（定期訪問・ケアカフェへの参加）
第2育秀苑	0人	7人（定期訪問）

#### ② 健康寿命の延伸に関する支援では、全ての方に健康診断の勧奨を行いました。

また、健康診断の結果の聞き取りや地域活動の情報提供を行うことで、健康に関心を向けるように働きかけを実施しました。検診への同行を行う事で医療機関へ繋ぐことができました。

#### (2) 日常生活支援業務

##### ① 日常生活支援事業

	対象者
桜台	66人
第2育秀苑	40人

担当ケースワーカーと連携を取りながら、見守り強化や各種手続き支援等を実施しました。

## ② 夏季の見守り強化の支援

	対象世帯	見守り手段	対応件数
桜台	99 件	電話	976 件
		訪問	99 件
第2育秀苑	84 件	電話	738 件
		訪問	104 件

## (3) 連絡会議等への出席

福祉事務所保護係と定例連絡会に毎月出席し、担当ケースワーカーへ報告および相談をして、連携して支援する体制をとりました。全体会については書面開催となりました。また、連絡会での一口講座から日々の対応に必要なスキルを学び資質の向上を図りました。

## (4) 練馬総合福祉事務所へ報告

実績報告の他、福祉事務所から依頼のある調査に協力しました。

## 3. 職員配置

支援対象者世帯が 150 世帯ごとに 1 名の生活支援員と現場責任者 1 名を配置しました。

(生活支援員は高齢者の居宅生活支援に関する知識を有する介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員等の資格を有する者)

	桜台	第2育秀苑
現場責任者	1 名	1 名
生活支援員	2 名	2 名
計	3 名	3 名

## 4. 2021年度の重点課題課題

### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 地域で暮らす方が、生活の中で感じる不安や孤独を見過ごさずに、その方の声に真摯に耳を傾ける生活支援員を意識して訪問支援を行いました。

### 2 サービス向上に対する取り組み

- ① 支援対象者の人権尊重に十分に配慮し、介護保険サービスや社会資源などの提案を行いつつ、その人らしい自立した日常生活が送れるように支援を行いました。
- ② 東京都や区が主催する研修へ参加し、知識や相談技術の向上を図りました。

### 3 経営基盤の安定

- ① アルコールなどの消毒薬を持ち歩き、訪問前に必ず手指消毒を実施し、感染症対策を実施しました。
- ② 定例の連絡会に出席して、ケースワーカーと連携した対応ができる体制を取りました。



#### 4 働きやすい職場作り

- ① 生活支援員センター内で適宜、ケースの共有や対応方針を検討する機会を持ち、チームで相談しやすい関係を保ち、その人にあった支援方針を検討する機会を作っていました。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ① 地域の方が集い活動している場の情報収集をして、活動を求めている方とのマッチングを行い、貢献できました。また、地域の社会資源の情報を提供しながら、地域の民生委員やその他の関係者と連携を図りました。

## 2021年度 練馬区委託事業報告

### 羽沢高齢者集合住宅における生活協力員

#### 1. 事業運営の基本方針

羽沢高齢者集合住宅の入居者 28 世帯、32 名の方に対して、月 1 回訪問にて面談を行い実態把握し、各相談に対応してきました。その結果を報告します。

#### 2. 主たる事業内容

##### (1) 入居者の実態把握および練馬区への報告書作成

4 月に年 1 回の入居者基本台帳を作成しました。

月 1 回、感染予防対策を徹底した上で訪問面談を行い、生活実態の把握を行いました。

##### (2) 居室の鍵の預かり・管理、点検業者への貸出

点検業者による緊急通報装置と火災感知器の定期点検時に鍵管理室の鍵を貸し出し、管理簿にて管理確認を行いました。

##### (3) 近隣・親族等からの通報による安否確認

訪問介護事業所からの通報が 1 件あり、地域包括支援センターと連携して安否確認を行いました。

##### (4) 必要時に応じて関係機関との連絡

介護保険サービスを利用している方については、月 1 回担当ケアマネジャーから情報収集を行い、緊急時の連携に備えました。

##### (5) 練馬区からの連絡文書の配布

訪問日のお知らせ、練馬区から依頼があった場合に文書の配布を行いました。

##### (6) 消防署による防災（避難）訓練の実施

練馬区住宅課、地域の協力業者と自衛消防訓練（避難訓練）を計画していましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症予防の為に中止となりました。

#### 3. 職員配置

社会福祉士、介護支援専門員それぞれの資格を有する者 2 名、責任者 1 名を配置しました。

#### 4. 2021年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

住民が安心して暮らすことが出来るよう、練馬区や介護保険サービス事業者、地域包括支援センターと連携できる体制づくりに取り組みました。

##### 2 サービス向上に対する取り組み

入居者の人権尊重に十分配慮し支援をおこないました。また、個人情報の取り扱いは管理簿を用いて管理を適切に行いました。

##### 3 経営基盤の安定

事業実施時は、常にアルコール消毒薬を携帯し、訪問時には毎回手指消毒を行ってから訪問を行いました。また、住民や近隣の方からの通報には、地域包括支援センター職員と連携して対応しました。

##### 4 働きやすい職場作り

月1回の訪問面談の後に、地域包括支援センター内で情報を共有し、支援方針を検討する場を持ち、相談や援助の対応ができる体制をとってきました。

##### 5 地域貢献への取り組み

鶴の里ホールで開催される自主活動やサークルへの勧奨を行いました。

# 2021年度 練馬区委託事業報告

## 高齢者筋力向上トレーニング事業

### 1. 事業運営の基本方針

介護予防マネジメントの結果で参加が認められた高齢者 3 名に対し、生活機能を改善するプログラムを提供し、介護予防を図りました。

### 2. 主たる事業内容

2022年1月～3月の毎週火・金曜日に、介護予防プログラム1教室23回を実施しました。運動指導員が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となり、1回予定日に行えず別日を設定し実施しました。

(1) 事前アセスメント（ケース会議）は、感染予防対策のため、2021年12月27日にオンラインで行いました。

(2) 個別実施計画を利用者に説明し、同意を得ました。

(3) 以下のプログラムを実施しました。

①プログラムの実施前に体調のチェック（血圧・脈拍の測定等）

②専用マシンによる筋力トレーニング及び柔軟性、バランス能力等を向上させる包括的なトレーニング、及び歩行トレーニング

③利用者の状態に合わせた個別のトレーニング

④必要に応じて理学療法訓練を行う

⑤プログラムは1.5時間以上実施する

⑥自宅での運動プログラムの提供を行い、日常生活上の運動に関する相談に対応する

(4) 事後アセスメント（ケース会議）は、感染予防対策のため、2022年3月30日にオンラインで行いました。

### (5) 従事者

①理学療法士等 1名

②運動指導員 1名

③看護師 1名

### (6) その他

①送迎が必要な対象者はいませんでした。

②ボランティアは感染予防のため本人の希望により参加を辞退されました。